

きべりはむし

第26巻 第1号



1998年 5月

兵庫昆虫同好会

ミスジチョウ
S.K

兵庫県産蝶類分布資料 (12)

ータテハチョウ科 3 種の記録ー

(ホシミスジ・ミスジチョウ・スミナガシ)

広畑政巳・近藤伸一

はじめに

タテハチョウ科3種の兵庫県内における分布状況について報告する。記載の方法は、県内の記録を各産地1例ずつをあげて、気付いたことを付記した。採集記録のうち場所が特定出来ない箇所については、分布図、垂直分布表から省いた。

本稿を草するにあたり、次の方々に採集記録を提供いただき、産地の状況等をご教示いただいた。ここに記してお礼申し上げる。

浅田 卓 石井為久 稲田和久 入江照夫
岩村 巖 故尾崎 勇 木下賢司 木村三郎
黒田 収 桑田正明 佐々木 薫 大東康人
高島 昭 徳岡正己 永橋嘉之 苦木隆幸
森口 紀 森下泰治 唐土洋一 八木 弘
山下剛史 米村和繁

1 ホシミスジ

(1) 分布の状況

シモツケ属(*Spiraea*)を食樹とし、本州、四国、九州に分布する。本州中部では標高500m以上の高標高の山地に産地が多いが、近畿から中国地方では山地よりも平地でよくみられる。兵庫県においては、図1のように、南部の瀬戸内海沿いに分布が連続し、特に市街地や集落周辺では個体数が多く、神戸市や赤穂市では海岸付近まで生息している。内陸部から北部但馬にかけては、生息地が限られ、北限は浜坂町の海岸部。西播磨の山間部と但馬の東部には広い分布の空白域があり、淡路島には分布していない。

県内で確認されているホシミスジの食樹は、自生種のイブキシモツケ、栽培種のシモツケ、ユキヤナギ、シジミバナ、コデマリなどである。

県内に自生しているシモツケ属はイブキシモツケ(*S. dasyantha*)、ミツパイワガサ(*S. blmei*)、シモツケ(*S. japonica*)の3種で、イブキシモツケは淡路

島を除く県内の岩山に広く(宝塚市、神戸市北区、姫路市、赤穂市、福崎町七種、生野町、氷ノ山東尾根、福崎町七種山など)分布し、ミツパイワガサは但馬の海岸部(浜坂町城山、諸寄、香住町余部、竹野町宇日など)に分布している。シモツケは氷ノ山、三室山、小金ヶ岳などにごく稀に分布している。

(2) 生息環境の現況

開けた明るい環境を好み、山地ではイブキシモツケの自生する林の林道沿いなどの林縁部でみられ、集落周辺ではユキヤナギやコデマリが植栽された公園や住宅地で発生している。県南部では近年特に市街地でユキヤナギなどの栽培種を食樹として分布域を拡大している。採集時期と採集場所を市町別に整理したのが表1-2で、1970年代から市街地の採集記録が急増していることがわかる。

表1-1の垂直分布表で標高100m以下に生息地が集中しているのもこのためである。山地の分布域はいずれもイブキシモツケが分布する地域で1,000mを越える場所でも採集されている。浜坂町付近の海岸部にはミツパイワガサが自生しており、但馬の海岸部に分布するホシミスジはこれを食樹としている可能性が強い。

(3) 採集記録

川西市黒川 1♂1♀ 8-VI-1997 近藤伸一

〃 鼓ヶ滝 4卵1幼虫

3-IX-1972 中西元男 14)

〃 東多田 数卵 3-IX-1972 中西元男 8)

伊丹市緑ヶ丘 17exs. 11-VI-1995 78)

三田市けやき台中央公園 2exs. 25-VI-1995 27)

〃 フラワータウン 5exs. 17-VI-1995 78)

猪名川町上阿古谷 1ex. 10-VI-1979 32)

〃 民田 2exs. 22-VI-1995 78)

〃 仁頂寺 2♂ 15-VI-1980 森地重博 81)

宝塚市清荒神 1♀ 2-VIII-1970 加藤信一郎 13)

宝塚市宝塚遊園地	17)
〃 ゆずりは台 1幼虫 13-V-1995	22)
〃 丸山 1幼虫 13-IV-1991 緒方正雄	23)
〃 仁川高丸 1♂ 24-IX-1989 杠 隆史	33)
〃 仁川高台 1♂ 22-X-1989 杠 隆史	33)
〃 仁川旭ガ丘 1♂ 3-XI-1989 杠 隆史	33)
〃 美座 9-VI-1984	79)
〃 宝梅公園 26-X-1990	79)
西宮市越木岩 1ex. 16-V-1954	16)
〃 満地谷水源地 1ex. 20-V-1954	16)
〃 苦楽園 3exs. 22-V-1954	16)
〃 甲陽園 芝川農園 1♀	
9-VII-1949 法西 浩	17)
〃 夙川 4exs. 26-V-1954	16)
〃 津門西口町 1♀ 13-VI-1951 田中 蕃	18)
〃 甲山森林公園 65幼虫	
秋-冬 1990 緒方正雄	23)
〃 仁川町仁川 3exs. 2-VI-1995	22)
〃 上ヶ原 1♂1♀ 3-XI-1991 法西 浩	29)
〃 上甲東園 4幼虫 21-II-1991	26)
〃 平松町 1♀ 7-VI-1996	28)
〃 本町 7-VI-1996 杠 隆史	35)
〃 岡田山 3exs. 18-VI-1967 勝屋 潤	57)
〃 高木東町 桑田正明	

神戸市

東灘区住吉山手9丁目 1♀	
23-VII-1996 近藤伸一	
〃 御影町 1♂ 10-VI-1951 吉坂道雄	1)
灘区 伯母野山付近 1♂	

26-V-1971 杠 隆史	15)
灘区 上野通 目撃多数 1962 桑田正明	
中央区諏訪山 1♀ 9-VI-1984 近藤伸一	
〃 三宮 1ex. 17-VI-1995	78)
須磨区友ヶ丘多数目撃 14-VI-1997	75)
須磨区多井畑	6)

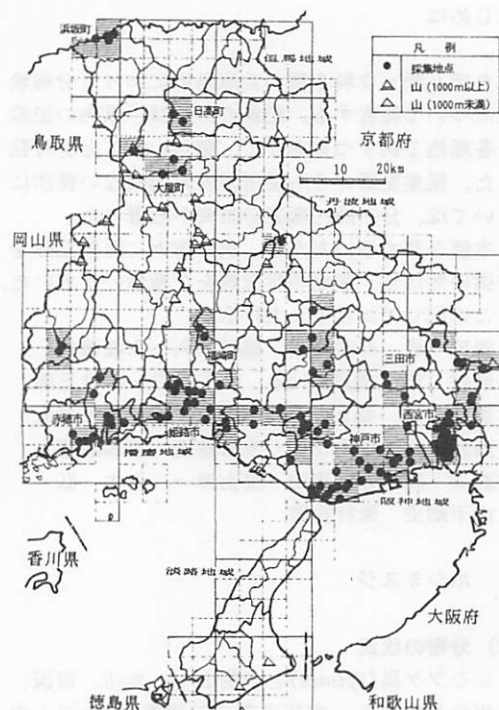


図1 ホシムシの県内分布

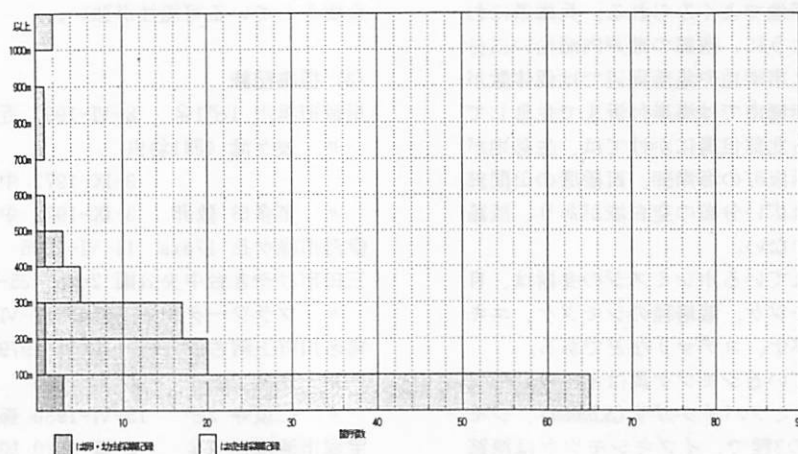


表1-1 ホシムシの垂直分布

表 1-2 県内におけるホシミスジ採集記録の年代別・市町別整理表

	1960年以前	1961～1970	1971～1980	1981～1990	1991年以降
川西市			鼓ヶ滝、東多田 仁頂寺		黒川
伊丹市					緑ヶ丘
三田市					ゆめ台中央公園 ツツ-タツ
猪名川町			上阿古谷		民田
宝塚市		清見神		仁川高丸 仁川高台 仁川旭ガ丘 宝樹公園、美座	ゆずりは台 丸山
西宮市	甲陽園、越木岩 満地谷、香森園 夙川、津門西口町	岡田山		甲山森林公園	仁川町仁川、上 ヶ原、上甲東園 平松町、本町
神戸市	御影町 有馬登山口 菊水山	神郡谷 大山寺 灘区上野通	伯母野山 舞子台	陣防山、名谷 北舞子、学ヶ丘 道場町、岩岡町	住吉山手、三宮 友ヶ丘、塩屋 藍那、星和台 森林植物園 伊川谷町
明石市			大蔵谷	太寺	
三木市			本町、大宮 志染中	興治、自由が丘	大付、上の丸
加古川市	志方町城山				平荘湖
高砂市				時光寺町	阿弥陀町
小野市				下米住町	
西脇市		真野町			
社町					中国道社パーキ ングエリア、畑
黒田庄町		白山			
加美町	三国岳				
姫路市	広峰山、八代、書写山 新在家、花田町上原田		勝山町 四郷町 豊富町	打越、井ノ口 大野峠、増位山 町田、曾佐校区 才	
福崎町			田口		
播磨川町					馬場
相生市	大谷町	小河、川原町	赤坂		相生駅付近
赤穂市		坂越、野中	春日	神保	大蔵谷
上月町	久崎、高倉山、御田				
日高町		阿蘇溪谷			
浜坂町				城山	清富、田井
関宮町	氷ノ山東山麓			関宮	
大屋町	加保			加保坂	

- 須磨区名谷 -1989 森口 紀
 垂水区塩屋 1♂2♀ 5-VI-1996 近藤伸一
 " 北舞子 3♂1♀ 6-VI-1987 山下剛史
 " 舞子台 1♀ 1-VII-1978 山下剛史
 " 学ヶ丘 多数目撃 VI-1985 山下剛史
 北区道場町 1ex. 18-VI-1982 N. S. 77)
 " 有馬町登山口 1♀ 12-VI-1959 尾崎 勇
 " 山田町藍那 1♀ 25-VI-1995 青木陽一 38)
 " 星和台 1♀ 1-VI-1996 青木陽一 38)
 " 山田町森林植物園 14幼虫
 27-II-1994 25)
 高取山 6)
 兵庫区菊水山 1♀ 15-VI-1959 尾崎 勇
 西区押部谷 1♂ 14-VI-1962 尾崎 勇
 " 大山寺 1ex. 24-VI-1965 78)
 " 岩岡町 2♂ 2-VII-1984 近藤伸一
 " 伊川谷町 -1994 森口 紀
 明石市大蔵谷東山西山 3exs.
 VI-1975 大東康人
 " 人丸 6)
 " 太寺 2♂ 24-V-1985 森本 輝
 三木市本町 1-VI-1977 高橋久夫 43)
 " 大村 1♂ 20-VI-1992 芝 直幸 34)
 " 上の丸 1♂ 20-VI-1992 芝 直幸 34)
 " 興治 2♂ 8-VI-1986 永幡嘉之 34)
 " 大官 -V-1975 小倉 滋 43)
 " 志染中 1♂1♀ -VI-1978 小倉 滋 43)
 " 自由が丘 1♂ 26-VII-1984 近藤伸一
 加古川市志方町城山 1♀
 17-VI-1934 山本広一 1)
 " 平荘湖 2♂ 9-VI-1993 21)
 高砂市時光寺町 1ex. 22-V-1983 近藤伸一
 " 阿弥陀町鹿島神社 3♀
 8-VI-1997 山下剛史
 小野市下来住町 1ex. 7-VI-1981 宇高 敦 76)
 西脇市鹿野町 -VI-1961 小西 池 2)
 " 高松 6)
 社町中国道社パーキングエリア
 4exs. 25-VI-1994 24)
 " 畑 1♀ 21-VI-1995 27)
 黒田庄町白山 1♀ 10-VI-1961 猪俣涼一 2)
 加美町三国岳 1♂ 5-VI-1960 小西 池 2)
 姫路市広峰山 1♂ 30-VII-1956 大西陸子 5)
 " 打越 1ex. VI-1985 広畑政巳
 姫路市井ノ口 1♂ 2-VI-1985 広畑政巳
 " 大野峠 1♂ 2-VI-1985 広畑政巳
 " 増位山 1♀ 30-V-1982 広畑政巳
 " 才 1♂ 7-VI-1981 広畑政巳
 " 町田 多数 10-V-1981 森 康行 12)
 " 勝山町 1♂ 6-VI-1972 梶谷 徹 9)
 " 豊富町 2♂ 15-VI-1971 西川一実 9)
 " 八代 1♂ 8-VI-1958 5)
 " 書写山 1♀ 30-VII-1959 室田和夫 5)
 " 花田町上原田 1♂
 15-VIII-1960 沢波 潜 5)
 " 新在家 1ex. 目撃26-VI-1959中谷貴寿 5)
 " 曾佐校区 1♀ 16-VIII-1981 永井快覧 12)
 " 四郷町 1♂1♀ 7-VIII-1980 近藤伸一
 福崎町七種 森下泰治
 " 田口 2♂ 10-VI-1979 近藤伸一
 揖保川町馬場 多数目撃
 23-V-1996 山下剛史
 相生市矢野町小河 2♀ 26-VII-1966 花岡 正 3)
 " 赤坂 1ex. 24-VI-1973 佐々木薫
 " 大谷町 1♂1♀ 8-VII-1956 橋本 3)
 " 川原町 1♂1♀ 16-VI-1967 米村和繁
 " 三濃山 3)
 " 相生駅付近 1♂1♀
 1-VIII-1993 21)
 赤穂市春日 2♂1♂ 8-VII-1979 広畑政巳
 " 大鹿谷 1♀ 21-VI-1993 21)
 " 坂越 1♀ 3-VIII-1962 岩村 巖
 " 野中 1♀ 19-VII-1962 西垣憲治
 " 神保 1♂ 16-IX-1984 近藤伸一
 上月町久崎 1♂ 16-VI-1954 松井俊公 4)
 " 高倉山 6)
 " 櫛田 6)
 日高町阿瀬溪谷 25-VI-1963 木下賢司 74)
 " 蘇武岳 7)
 浜坂町清富 1ex. 19-VI-1992 永幡嘉之 37)
 " 城山 4exs. 15-VI-1986 31)
 " 観音山 7)
 " 田井 3♀ 24-VI-1993 永幡嘉之 37)
 関宮町氷ノ山(杉ヶ沢) 7)
 " 氷ノ山東山麓 1♀
 28-VII-1951 山本広一 1)
 " 鉢伏山 7)
 " 関宮 1♀ 8-VIII-1982 広畑政巳

大屋町加保 1♂ 21-VI-1957 山本広一 1)
 " 加保坂 多数 13-VII-1984 近藤伸一

2 ミスジチョウ

(1) 分布の状況

カエデ科の植物を食樹とし、北海道、本州、四国、九州に分布する。中部以西では山地に生息するが、兵庫県では集落周辺の人家や公園などの植栽されたカエデからも発生しており、本種の幼虫の採集記録は、冬季に植栽されたカエデから幼虫を採集したものが多く、園芸種や盆栽のカエデから幼虫を採集した例もある。

県下の分布は図2のように、西播磨北部地域と阪神地域に分布が集中し、但馬地域では全域に広く点在している。東播磨の南部に分布の空白域があり、淡路島には分布していない。

(2) 生息環境の現況

成虫はやや深い山地の落葉広葉樹林の溪流沿いではよく見かける。幼虫は植栽されたカエデにも発生するが、溪流沿いの道路のカエデや落葉広葉樹林(まれに杉林もあるが)に近接している所がほとんどで、開けた農地、集落や松林周辺のカエデにはほとんど発生しない。成虫は樹冠など高い所を飛び、目につきにくいいためか、幼虫が多数確認出来る場所でも成虫を見ることはほとんどない。低地から高標高地にまで記録はあるが、特に標高200m~400mに分布が集中している。

(3) 採集記録

川西市黒川妙見山 1幼虫 16-VII-1997 75)
 " 黒川 1幼虫 5-III-1983 高橋邦明 42)
 " 笹部 28-V-1978 小坂利明 42)
 " 大和団地 1♂ 21-V-1977 榎原俊嗣 42)
 " 新滝道 1♀ 28-VI-1970 高橋邦明 42)
 三田市上本庄 2幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 大磯 2幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 小柿上 5幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 小柿東 2幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 布木 2幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 末吉 8幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 十倉 1幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)

三田市下里 1幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 波豆川 1幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 下槻瀬 1幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 沢谷 1幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 上青野 2幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 酒井 1幼虫 15-I-1987 高橋・佐々木42)
 " 見比 1幼虫 15-I-1987 高橋・佐々木42)
 " 尼寺 9幼虫 15-I-1987 高橋・佐々木42)
 " 小野 2幼虫 28-III-1987 高橋・津村 42)
 " 乙原 1幼虫 28-III-1987 高橋・津村 42)
 " 大原 1幼虫 25-IV-1982 高橋・加藤 42)
 " 天神 1幼虫 25-IV-1982 高橋・加藤 42)
 " 藍本 1幼虫 -III-1987 高橋・加藤 42)
 " 福島 1ex. 目撃 4-VI-1995 56)
 " 木器 3幼虫 10-IV-1982 近藤伸一 42)
 猪名川町仁部 2蛹殻 4-I-1989 高橋・佐々木42)
 " 上阿古谷三草山 10幼虫
 28-II-1988 高橋・佐々木42)
 " 木間生 10幼虫 XI-1987 山本 治 42)
 " 木津 8幼虫 XI-1987 山本 治 42)
 " 柏原 5幼虫 XI-1987 山本 治 42)
 " 島 5幼虫 XI-1987 山本 治 42)
 " 民田 2♂羽化 8-V-1993 長沼三郎 55)
 宝塚市千刈水源地 2幼虫 23-IX-1984 有田 斉42)
 " 上佐曾利 1幼虫 14-II-1982
 広畑・近藤 40)
 " 波豆 1幼虫 14-II-1982 広畑・近藤 40)
 " 武田尾 1幼虫 -II-1980 岡嶋秀紀 40)
 " 宝塚 1♀ 5-VI-1948 吉坂道雄 4)
 " 切畑 1幼虫 2-II-1994 25)
 神戸市
 東灘区本山町岡本 1ex. -1962 青山潤三 40)
 " 御影町 1♀ 26-VI-1946 吉坂道雄 1)
 灘区神戸高校付近 -VI-1967 渡辺 顕 10)
 " 袖谷 1ex. 目撃 10-VI-1978 小林政信 42)
 中央区布引 1ex. 目撃 7-VI-1978 小林政信 42)
 " 諏訪山公園 VI-1991 山口福男 30)
 " 再度山 11)
 北区淡河町東畑 1幼虫 14-II-1982
 広畑・近藤 40)
 " " 中山 1幼虫 14-II-1982
 広畑・近藤 40)
 " " 西畑 2幼虫 14-II-1982
 広畑・近藤 40)

北区大沢町神付 3幼虫 14-II-1982	広畑・近藤 40)
〃 大沢町上大沢 2幼虫	14-II-1982 広畑・近藤 40)
〃 大沢町中大沢 1幼虫	14-II-1982 広畑・近藤 40)
〃 大沢町日西原 2幼虫	14-II-1982 広畑・近藤 40)
〃 八多町屏風 1♀ 4-VI-1993 蜂谷幸雄 38)	
〃 山田町東下 1♀ 目撃	18-VII-1993 杠 隆史 51)
〃 道場町生野 1幼虫 10-I-1982 広畑政巳 40)	
〃 森林植物園 1♂ 13-VI-1977 山下剛史 43)	
三木市志染町大谷 16-VI-1976 三木 進 43)	
〃 加佐	永幡嘉之
吉川町福井 2幼虫 10-II-1982 広畑政巳 40)	
西脇市住吉町札場 1幼虫	11-II-1983 近藤伸一 50)
黒田庄町黒田 1幼虫	徳岡正己
八千代町大屋 1幼虫 27-II-1983 広畑政巳 50)	
加美町山寄上 1♂羽化 19-V-1982 徳岡正己 50)	
〃 鳥羽 1♂羽化 17-V-1982 徳岡正己 50)	
〃 清水 1♀羽化 24-V-1982 徳岡正己 50)	
〃 轟 1♀羽化 26-V-1982 徳岡正己 50)	
姫路市林田町八幡神社	木村三郎
夢前町寺河内 2幼虫 11-III-1984 広畑政巳	
〃 山之内坂根 6幼虫	7-II-1982 広畑政巳 39)

夢前町山之内吉田 5幼虫	7-II-1982 広畑政巳 39)
〃 山之内馬頭 1幼虫	7-II-1982 広畑政巳 39)
〃 山之内我孫子 4幼虫	7-II-1982 広畑政巳 39)

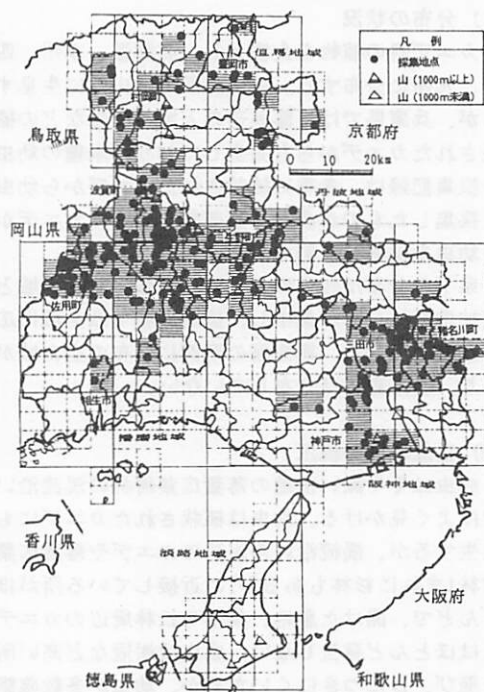


図2 ミスジチョウの県内分布

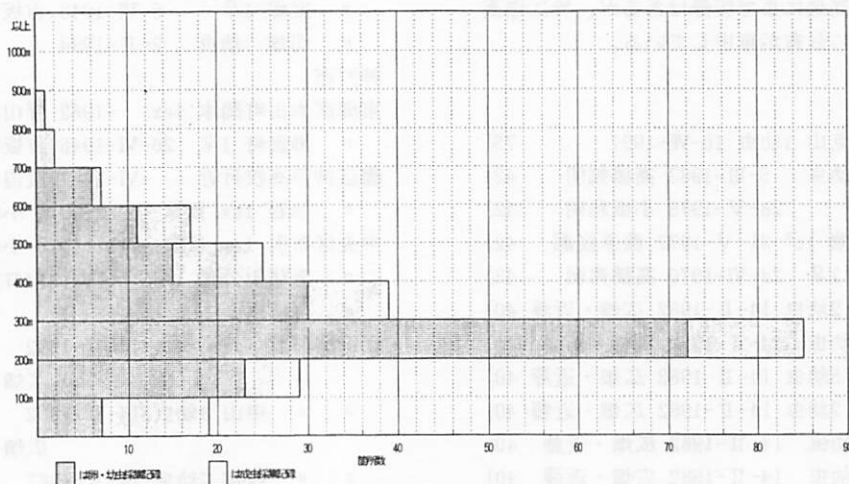


表2 ミスジチョウの垂直分布

夢前町山之内立船野 2幼虫

7-II-1982 広畑政巳 39)

" 熊部 1幼虫 7-II-1982 広畑政巳 39)

" 佐中 1幼虫 7-II-1982 広畑政巳 39)

" 文殿 1幼虫 7-II-1982 広畑政巳 39)

神崎町新田 2幼虫 21-II-1982 広畑政巳 39)

" 作畑 1幼虫 21-II-1982 広畑政巳 39)

" 大畑 1幼虫 21-II-1982 広畑政巳 39)

" 越知 2幼虫 21-II-1982 広畑政巳 39)

" 岩屋 1幼虫 21-II-1982 広畑政巳 39)

" 根宇野 2幼虫 21-II-1982 広畑政巳 39)

" 福本 1幼虫 21-II-1982 近藤伸一 39)

市川町下牛尾河内 五十嵐喜昭

福崎町七種 石井為久

大河内町川上 2♂ 14-VI-1975 広畑政巳 39)

" 長谷板屋 2幼虫 6-II-1982 広畑政巳 39)

" 長谷本村 3幼虫 6-II-1982 川崎悟良 39)

" 南小田日和 4幼虫 6-II-1982 広畑政巳 39)

" 上小田小原 2幼虫 6-II-1982 広畑政巳 39)

" 宮野 3幼虫 6-II-1982 佐々木薫 39)

安富町鹿ヶ壺 1♂1♀ 8-VII-1981 森 康行 39)

" 皆河 2幼虫 7-II-1982 広畑政巳 39)

" 三坂 木村三郎

山崎町梯 5幼虫 17-I-1982 佐々木薫 39)

" 五十波 2幼虫 31-I-1982 佐々木薫 39)

" 塩田 2幼虫 7-II-1982 佐々木薫 39)

" 上ノ 1幼虫 1-II-1982 佐々木薫 39)

" 野々上 2幼虫 18-II-1982 佐々木薫 39)

" 塩山 2幼虫 11-II-1982 佐々木薫 39)

" 蔦沢 1♂ 11-VI-1968 岩村 巖

" 土万 2幼虫 4-III-1984 広畑政巳

一宮町福知 3幼虫 24-I-1982 広畑政巳 39)

" 黒原 3幼虫 24-I-1982 広畑政巳 39)

" 千町 1幼虫 6-III-1982 佐々木薫 39)

" 下千町 3幼虫 6-III-1982 佐々木薫 39)

" 草木 1幼虫 6-III-1982 佐々木薫 39)

" 上岸田 1幼虫 24-I-1982 広畑政巳 39)

" 百千家満 1幼虫 24-I-1982 広畑政巳 39)

" 下三方 1幼虫 24-I-1982 黒田 収 39)

" 三方 1幼虫 2-II-1982 佐々木薫 39)

" 東河内 8幼虫 2-II-1982 佐々木薫 39)

" 上野田 1幼虫 2-II-1982 佐々木薫 39)

" 下野田 2幼虫 2-II-1982 入江照夫 39)

" 能倉 3幼虫 2-II-1982 佐々木薫 39)

一宮町志倉 1幼虫 7-III-1982 佐々木薫 39)

" 溝谷 1♂ 10-VI-1976 尾崎 勇 39)

" 小原 3exs. 16-VI-1985 近藤伸一

" 西公文 2幼虫 21-II-1982 川崎悟良 39)

" 公文 2幼虫 21-II-1982 佐々木薫 39)

" 森添 3幼虫 21-II-1982 佐々木薫 39)

" 河原田 3幼虫 21-II-1982 川崎悟良 39)

" 釜河内 2幼虫 21-II-1982 佐々木薫 39)

" 高野 1幼虫 21-II-1982 佐々木薫 39)

" 横山 1幼虫 21-II-1982 入江照夫 39)

" 富士野 2幼虫 21-II-1982 入江照夫 39)

" 倉床 2幼虫 21-II-1982 川崎悟良 39)

" 福野 3幼虫 21-II-1982 佐々木薫 39)

" 西深 1幼虫 21-II-1982 川崎悟良 39)

" 福中 1幼虫 21-II-1982 入江照夫 39)

" 生栖 1幼虫 21-II-1982 入江照夫 39)

" 嵯峨山 2幼虫 21-II-1982 川崎悟良 39)

" 安積 1幼虫 21-II-1982 佐々木薫 39)

" 阿舍利 1幼虫 28-XI-1982 近藤伸一

波賀町赤西溪谷 2♂ 10-VI-1980 黒田 収 39)

" 上小野 4幼虫 14-II-1982 黒田 収 39)

" 安賀 2幼虫 14-II-1982 黒田 収 39)

" 原 5幼虫 14-II-1982 相坂耕作 39)

" 水谷 2幼虫 14-II-1982 相坂耕作 39)

" 音水 2幼虫 14-II-1982 相坂耕作 39)

" 流田 3幼虫 20-II-1982 入江照夫 39)

" 斉木 5幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 道谷 2幼虫 23-II-1982 佐々木薫 39)

" 石亀 1幼虫 23-II-1982 佐々木薫 39)

" 有賀 1幼虫 23-II-1982 佐々木薫 39)

" 野尻 1幼虫 23-II-1982 佐々木薫 39)

" 林殿 1幼虫 23-II-1982 佐々木薫 39)

" 飯見 1幼虫 23-II-1982 佐々木薫 39)

千種町下河野 1幼虫 20-II-1982 入江照夫 39)

" 七野 7幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 室 6幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 河呂 1幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 西河内 2幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 黒土 7幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 岩野辺 4幼虫 20-II-1982 佐々木薫 39)

" 内ノ海 1幼虫 20-II-1982 入江照夫 39)

" 鷹巣 5幼虫 20-II-1982 入江照夫 39)

" 荒尾 2幼虫 20-II-1982 入江照夫 39)

相生市三瀬山 1♂ 24-VI-1995 森口 紀

相生市瓜生 1♂	16-VI-1996	高島 昭		和田山町竹ノ内 1♀	11-VI-1994	木下賢司	37)
佐用町若州 1♀	22-VI-1980	広畑政巳	39)	朝来町岩屋観音 lex.	11-VI-1981	福井丈嗣	45)
〃 海内 1♂	11-VI-1961	岩村 巖	39)	〃 石田 1幼虫	21-III-1990	近藤伸一	49)
〃 桑野 3幼虫	11-II-1982	佐々木薫	39)	生野町棚原 1♂	18-VI-1975	広畑政巳	
〃 庵 2幼虫	11-II-1982	佐々木薫	39)	〃 黒川 1幼虫	24-III-1985	入江照夫	48)
〃 鴨尾 1幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 菖蒲沢 1♂	10-VI-1975	尾崎 勇	49)
〃 下村 2幼虫	25-II-1982	八木 弘	39)	関宮町鉢伏山 1♀	3-VII-1974	尾崎 勇	
〃 桑村 1幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 丹戸 1♂	24-VII-1992	永橋嘉之	37)
〃 奥海 3幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 福定 1♂	23-VII-1991	永橋嘉之	37)
〃 上石井 1♂	13-VI-1989	高島 昭		大屋町筏 1♀	7-VI-1957	中尾淳三	58)
〃 下石井 1幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 若杉 2♂	8-VI-1958	醸尾 勲	58)
〃 中ノ原 2幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 若杉峠 2♂1♀	10-VI-1957	山根国夫	58)
〃 水根 1幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 横行 1♀	2-VII-1979	高島 昭	
〃 三山 2幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 天滝 1♂	5-VII-1980	高島 昭	
〃 中山 1幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	〃 加保坂 lex.	13-VIII-1984	近藤伸一	
〃 豊福 3幼虫	25-II-1982	佐々木薫	39)	柏原町 lex.	8-V-1952	山本雅俊	
〃 平谷 1幼虫	25-II-1982	入江照夫	39)	市島町北奥 4 幼虫	12-I-1984	浅田 卓	
南光町船越 1幼虫	31-I-1982	広畑政巳	39)	春日町舟城 5 幼虫	2-IV-1983	徳岡正己	
〃 河崎 5幼虫	5-II-1982	佐々木薫	39)	〃 国領 1 幼虫	2-IV-1983	徳岡正己	
〃 三河 1幼虫	5-II-1982	佐々木薫	39)	青垣町高源寺 1♂羽化	19-V-1982	徳岡正己	
豊岡市妙楽寺 1♀	15-VI-1964	木下賢司	45)	丹南町住山 lex.	4-VI-1995		22)
〃 百合地 2幼虫	22-I-1989	近藤伸一	49)	今田町四斗谷 1♂	6-VI-1994		52)
〃 小島 1♀	11-VI-1994	宮垣友洋	53)	篠山町弥十郎岳 lex.	9-VI-1991	高橋邦明	81)
〃 福成寺 1♂	14-VI-1979	木下賢司	45)	〃 後川新田 1♂2♀	14-VI-1997	鍋島五郎	81)
〃 神武山	30-V-1973	遠藤知二	54)				
竹野町御又 2幼虫	23-II-1990	近藤伸一	49)				
〃 三原 2幼虫	13-III-1990	近藤伸一	49)				
日高町神鍋山 1♀	11-VI-1987	木下賢司	37)				
香住町下岡 2幼虫	9-III-1990	近藤伸一	49)				
出石町奥山茗荷谷 1♀	18-VI-1978	広畑政巳					
〃 奥山 1♂	6-VI-1982	福井丈嗣	45)				
〃 袴狭 2幼虫	17-II-1990	近藤伸一	49)				
〃 宮内 1幼虫	17-II-1990	近藤伸一	49)				
但東町薬王子 1幼虫	22-I-1989	近藤伸一	49)				
村岡町耀山 1♀	5-VII-1979	小崎	45)				
〃 板仕野 2幼虫	20-I-1990	近藤伸一	49)				
〃 小城 lex.	10-VI-1993	永橋嘉之	37)				
美方町鍛冶屋	4-VII-1981	谷角素彦	41)				
〃 久須部 3幼虫	23-II-1990	近藤伸一	49)				
〃 大谷 1幼虫	21-I-1989	近藤伸一	49)				
温泉町湯 1幼虫	17-XI-1989	近藤伸一	49)				
〃 湯中山 2幼虫	9-II-1990	近藤伸一	49)				
〃 岸田花口 2♂	9-VI-1992	永橋嘉之	37)				
和田山町糸井 1♀	18-VI-1978	尾崎 勇					

3 スミナガシ

(1) 分布の状況

アワブキ科 (*Meliosma*) の植物を食樹とし、本州、四国、九州の山地に広く分布する。

県下の分布は図3のように、南は淡路島から北部日本海沿いにかけて全域に広く点在している。

県下に分布するアワブキ科は3種で、落葉樹のアワブキ (*M. myriantha*)、ミヤマハハソ (*M. tenuis*) は淡路島以外の県下に広く分布し、常緑のヤマビワ (*M. rigida*) は淡路島南部に分布するが、いずれもスミナガシの食樹になっている。

(2) 生息環境の現況

淡路島では洲本市三熊山などのヤマビワが分布する常緑広葉樹林の林間、林縁部を活動の場所としているが、その他の地域ではアワブキ、ミヤマハハソが分布する広葉樹林の林間や林縁部に生息

している。播磨、阪神地域ではスミナガシの食樹がやや標高の高い山地に分布するためか、低地での個体数は極めて少ない。北部但馬地域では食樹が平地林から高標高地にかけて分布し、集落周辺でもみられ個体数も比較的多い。垂直分布を県下全域でみると、表3のように低地から標高が高くなるのに比例して生息地が減少している。

(3) 採集記録

川西市黒川妙見山 1幼虫 16-VII-1997	75)	姫路市伊伝居	9)
〃 笹部 2♂ 30-VII-1971 桑原英夫	59)	神崎町作畑新田 2♂ 10-VIII-1981 近藤伸一	
〃 赤松 16-V-1970 小坂利明	60)	〃 笠形山山頂付近 2♂	
〃 東谷 1♀ 12-VIII-1954 吉坂道雄	1)	12-VI-1960 大島 幸	2)
〃 芋生 22-VIII-1979 仲田元亮	60)	市川町上牛尾塩谷 1♂ 13-VIII-1993 広畑政巳	
〃 一庫 2exs. 26-VII-1966 当麻信彦	59)	福崎町山崎	森下泰治
〃 一の島居 1ex. 8-VI-1966 畦 定子	59)	大河内町砥峰 1♂ 9-VII-1981 広畑政巳	
〃 多田 3exs. 6-VI-1967 鴻池義一	59)	夢前町留彦山 1♂ 6-V-1962 尾崎 勇	
三田市本庄 1♀ 17-VIII-1969 高橋邦明	42)	〃 菅生洞	谷川洋行 72)
〃 乙原 3幼虫 29-VII-1995	56)	安富町関 1♀ 21-VIII-1982 広畑政巳	
〃 木器〜猪倉峠 20-VII-1976	79)	山崎町塩野 1♂ -VII-1950 松井俊公	4)
猪名川町槻並 14-VIII-1984 小坂利明	60)	〃 葛沢 2♂ 31-V-1960 岩村 巖	
〃 内馬場 22-VIII-1976 仲田元亮	60)	一宮町福知 2♂ 5-VIII-1984 広畑政巳	
〃 柏原(大野山) 8-VI-1980 小坂利明	60)	〃 小原 1♀ 16-VI-1985 近藤伸一	
〃 鎌倉(高岳) 14-VIII-1984 小坂利明	60)	〃 上野田 1♀ 16-VI-1985 近藤伸一	
〃 肝川 1ex. 目撃 9-IX-1995	56)	波賀町赤西溪谷 1♂ 18-V-1975 広畑政巳	
宝塚市大原野 28-V-1990	79)	〃 音水 2♂1♀ 26-VIII-1984 高島 昭	
西宮市甲山鷺林寺	70)	〃 平桑 2exs. 12-VIII-1979 近藤伸一	
神戸市		千種町鷹巣 1♀ 2-VI-1985 近藤伸一	
六甲山 1♂ 27-VIII-1951 吉坂道雄	4)	相生市矢野町三湊山 2exs.	
灘区六甲学院前 1♀ 3-IX-1968 杠 隆史	15)	1-VII-1957 唐土洋一	
北区帝釈山 2♂ 23-V-1995 平尾栄治	67)	上郡町富満 1♂ 27-VIII-1967 中浜春樹	
〃 道場町 1幼虫 19-IX-1983 浜田 静		佐用町水根 1♂ 24-VI-1967 米村和繁	
北区山田町山ノ街 1♂1♀ 3-VIII-1960 尾崎 勇		上月町上秋里 1♂ 30-V-1971 相坂耕作	
〃 泉台大山公園 1♂ 下旬-VII-1994 山下剛史		〃 西新宿 1♂ 6-VI-1990 高島 昭	
〃 森林植物園 2♂1♀ 13-VII-1975 山下剛史		南光町船越 2♂ 12-VII-1968 米村和繁	
西区押部谷町木津1ex. 5-VI-1993 青木陽一	65)	三日月町	71)
〃 榎谷町寺谷 1ex. -VIII-1994 山下剛史		豊岡市滝 1♀ 2-VII-1978 木下賢司	45)
三木市大村 1ex. 19-VIII-1984 永幡嘉之	63)	〃 中ノ谷 24-V-1974 今井	54)
〃 善祥寺 1ex. 29-VIII-1983 永幡嘉之	34)	〃 下鶴井 1♀ 12-VII-1974 足立義弘	54)
加古川市上荘町	数岡省一郎 1)	豊岡市柳江 1♀ 13-VIII-1993 宮垣友洋	53)
西脇市住吉町 1ex. 目撃	大島 幸 2)	〃 愛宕山 1♂ 6-VI-1978 木下賢司	45)
〃 八日山 1ex. -V-1958	68)	城崎町来日 1♂ 4-VI-1975 木下賢司	45)
加美町三国岳 1♂ 30-V-1959 猪俣・岡本	68)	〃 城崎林道 1♂ 19-VI-1975 木下賢司	45)
〃 清水 1♂ 3-VI-1959 猪俣・岡本	68)	〃 もみじ平 19-VI-1975 木下賢司	73)
		〃 飯谷 中令3幼虫 7-IX-1988 近藤伸一	
		竹野町阿金谷 1♂ 10-VI-1963 木下賢司	45)
		日高町阿瀬溪谷 31-VII-1977 谷角素彦	74)
		〃 岩中 1♂ 17-VI-1978 木下賢司	45)
		〃 棚本 2♂ 11-VI-1983 前平照雄	45)
		〃 名色林道 1♂ 27-VI-1980 福井文嗣	45)
		〃 上ノ郷 1♂撮影 1-VIII-1985 木下賢司	37)
		〃 稲葉 1♂ 16-VIII-1997 大東康人	
		香住町三川 2♂ 1-VIII-1963 小崎茂樹	45)

出石町桐野 1♂	16-VII-1972	木下賢司	45)
温泉町上山高原	19-VII-1973	中野 真	69)
〃 扇ノ山 3幼虫	13-VII-1988	近藤伸一	
〃 海上 3幼虫	13-VII-1988	近藤伸一	
〃 霧ヶ滝 1~3令幼虫	7-IX-1988	近藤伸一	
浜坂町新市 3幼虫	6-IX-1989	近藤伸一	
〃 城山 1♂	6-VII-1991	永幡嘉之	37)
〃 観音山 1♂	1-VI-1993	永幡嘉之	37)
和田山竹ノ内 1ex.	24-V-1985	山崎喜彦	45)
〃 糸井 1ex.	18-VI-1978	広畑政巳	
生野町板原 1♀	4-VII-1980	近藤伸一	
関宮町大久保 1♂	12-VII-1967	宮武頼夫	4)
関宮町福定 1♂1♀	9-VII-1967	宮武頼夫	4)
大屋町横行 7幼虫	14-IX-1980	近藤伸一	37)
〃 杉ヶ沢 1♂	3-VII-1996	大東康人	
〃 天滝 5幼虫	15-IX-1984	近藤伸一	
篠山町上籠坊	26-VII-1980	仲田元亮	61)
〃 鏑市ダム付近		杠 隆史	82)
今田町四斗谷 1♂	6-VI-1994		56)
洲本市三熊山 3exs.	1-VI-1991	菊地宏美	64)
〃 塩屋 前翅	VII-1977	近藤伸一	
南淡町灘大川 1ex.	3-VII-1987	藤平 明	62)

<参考文献>

- 1) 山本広一・吉坂道雄(1960) 兵庫県蝶類目録
(3) 兵庫生物4(1):37-44
- 2) 猪俣涼一・岡本 清(1962) 多可西脇地方の昆

虫(追報) 兵庫生物4(3/4):177-178
 3) 岩村 巖(1968) 西播の蝶分布資料(5) 赤相の蝶類 兵庫生物5(5):386-397
 4) 日浦 勇(1969) 日本列島の蝶
 大阪府立自然博物館収蔵資料目録

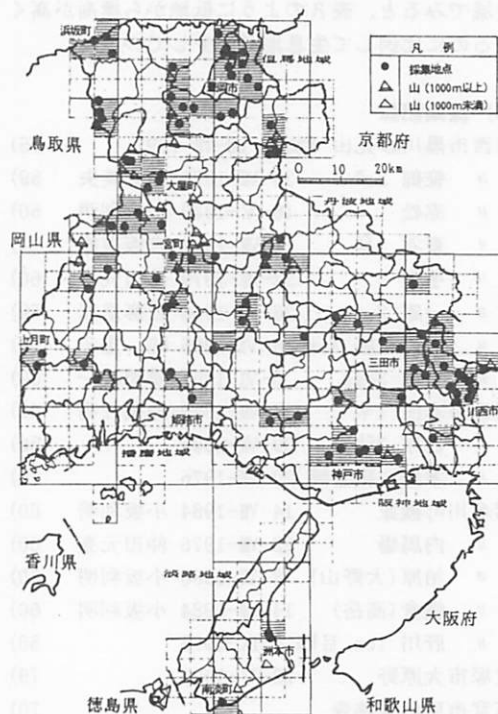


図3 スミナガシの県内分布

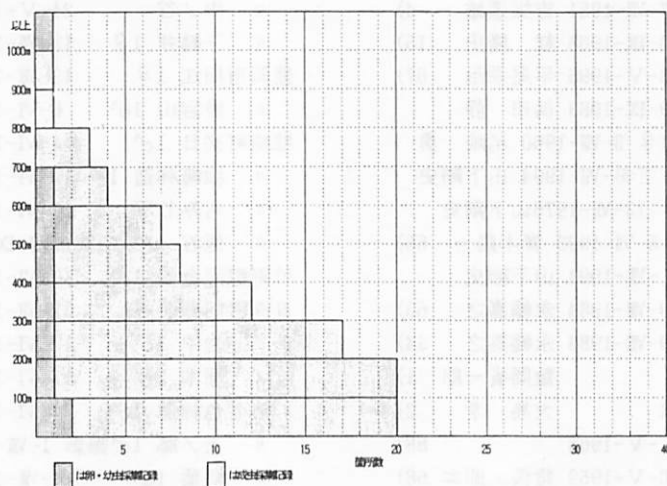


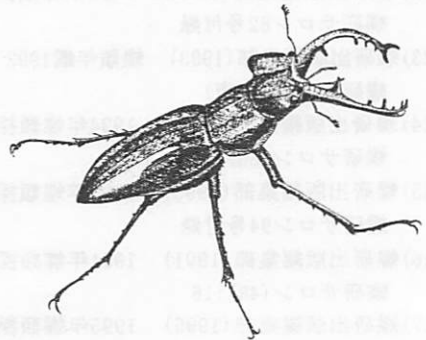
表3 スミナガシの垂直分布

- 5) 岩村 巖・中谷貴寿(1961) 西播の蝶分布資料(1) 兵庫生物4(2):135-136
- 6) 山本広一(1971) 兵庫県の蝶相 月刊むし(3):2~10
- 7) 高橋 匡(1979) 但馬地方昆虫目録(予報第1報) IRATSUME(3):40~58
- 8) 中西元男(1972) ホシミスジの葉裏産卵例 Crude(8):16
- 9) 相坂耕作(1980) 姫路市の昆虫 てんとうむし(6):10-20
- 10) 田中利典(1969) 六甲山、摩耶山の蝶 MAIMAI(1):1-8
- 11) 加藤昌宏・武衛晴彦(1981) 神戸の蝶 神戸市立教育研究所・神戸市
- 12) 姫路昆虫同好会(1981) 姫路市立科学館児童生作品展より拾う 姫昆サロンニュース(31):1
- 13) 加藤信一郎(1981) 宝塚市荒神山のチョウ きべりはむし9(2):8~15
- 14) 中西元男(1981) 能勢・箕面のホシミスジの化性についてCrude(22):1-5
- 15) 杠 隆史(1982) 六甲山系の蝶 Crude(23):67~73
- 16) 若林守男ほか(1955) ホシミスジの三回発生に関する考察
- 17) 法西定雄(1949) ホシミスジの一知見 MDKNEWS 2(9/10):45
- 18) 田中 蕃(1953) 自宅庭でホシミスジ採集 (ムシペン田中蕃集) MDKNEWS 6(2):23
- 19) 京都大学蝶類研究会(1988) 日本産蝶類239種類の記録(下) SPINDANOUV(3):2~51
- 20) 永幡嘉之(1995) 但馬の蝶3題 IRATSUME(19):1~3
- 21) 蝶研出版編集部(1994) 1993年蝶類採集情報 蝶研サロン82号付録
- 22) 蝶研出版編集部(1993) 蝶類年鑑1992 蝶研出版(茨木市)
- 23) 蝶研出版編集部(1994) 1994年蝶類採集情報 蝶研サロン(88):12~13
- 24) 蝶研出版編集部(1995) 1994年蝶類採集情報 蝶研サロン94号付録
- 25) 蝶研出版編集部(1991) 1991年蝶類採集情報 蝶研サロン(48):16
- 26) 蝶研出版編集部(1995) 1995年蝶類採集情報 蝶研サロン(100):15-25
- 27) 蝶研出版編集部(1996) 1996年蝶類採集情報 蝶研サロン(112):14-20
- 28) 法西 浩(1992) 11月の兵庫県西宮市でホシミスジの発生を観察 蝶研フィールド7(8):28-29
- 29) 山口福男(1995) 諏訪山公園の蝶 きべりはむし23(1):22~26
- 30) 黒田和之(1988) 浜坂町城山の蝶類 IRATSUME(12):11~13
- 31) 京都大学蝶類研究会(1987) 日本産蝶類238種類の記録 SPINDA(1):2~41
- 32) 杠 隆史(1990) ホシミスジの秋期における成虫の記録 Crude(33)23
- 33) 永幡嘉之(1993) 三木市内における蝶の採集記録 きべりはむし21(1):10~22
- 34) 杠 隆史(1995) 西宮市南部でホシミスジを目撃 Crude(40)40
- 35) 永幡嘉之(1996) ホシミスジの分布拡大例 きべりはむし24(1):48~49
- 36) 木下賢司・近藤伸一・大東康人・永幡嘉之(1996) 但馬地域の産蝶目録II IRATSUME(20):66~86
- 37) 青木陽一(1997) 神戸市の蝶 蝶研フィールド12(5):4-12
- 38) 広畑政巳・佐々木薫(1982) 兵庫県西南部に於けるミスジチョウの分布 ひろおび(6):35-37
- 39) 広畑政巳・近藤伸一(1982) 三田市周辺に於けるミスジチョウの分布 きべりはむし10(2):16~18
- 40) 島田真輔(1982) 美方町の蝶 IRATSUME(6):25~29
- 41) 大阪昆虫同好会(1989) 北摂の蝶
- 42) 小倉 滋・高橋久夫(1978) 三木市内の蝶について きべりはむし6(1/2):8~16
- 43) 三木 進(1979) 六甲山系(西部)の蝶 きべりはむし7(1):2~7
- 44) 木下賢司・前平照雄・福井丈嗣(1986) 但馬地域の蝶類目録 IRATSUME(10):55~95
- 45) 丹波昆虫同好会(1957) 丹波の蝶 丹波昆虫(3):12
- 46) 姫路昆虫同好会(1988) 相生の三瀬山でミスジチョウ 姫昆サロンニュース(81)2

- 48) 入江照夫(1989) 早春に生野町で採集した蝶
ひろおび(8):27
- 49) 近藤伸一(1991) 但馬地域におけるミスジチ
ョウの分布 きべりはむし19(1):24~25
- 50) 広畑政巳・近藤伸一・徳岡正巳(1984) 東播
磨に於けるミスジチョウの分布 てんとうむ
し(9):59
- 51) 杠 隆史(1993) 神戸市におけるミスジチョ
ウの目撃記録 Crude(39):36
- 52) 蝶研出版編集部(1995) 1995年蝶類採集情報
蝶研サロン(87):12~14
- 53) 宮垣友洋(1986) 豊岡市で採集した蝶・トン
ボ IRATSUME(19):26~35
- 54) 遠藤知二(1975) 豊岡市周辺の蝶
兵庫県自然保護協会但馬支部研究紀要1(1)
- 55) 長沼二郎(1997) 大阪府能勢町全域およびそ
の周辺の蝶に関する1980年以降の記録
のせ26(10):4-10
- 56) 蝶研出版編集部(1996) 蝶類採集情報・総集
編 蝶研出版・茨木市
- 57) 勝屋 潤(1967) 西宮市岡田山の昆虫
甲陸生物2:2-7
- 58) 中尾淳三(1959) 氷ノ山付近の蝶相
Natura(16):15-23
- 59) 大阪昆虫同好会(1981) 北摂の昆虫(1)蝶類
- 60) 小坂利明(1994) 猪名川流域の蝶
詩画工房・大阪
- 61) 仲田元亮(1982) 能勢の昆虫(蝶の部)自刊
- 62) 藤平 明(1988) 南淡町灘大川でスミナガシ
を得る PARNASSIUS(33):3
- 63) 永幡嘉之(1989) 三木市大村の昆虫相(I)蝶相
釜城生物1(1):18-58
- 64) 菊地宏美(1992) 淡路島での蝶の採集
PARNASSIUS(38):1-6
- 65) 青木陽一(1993) 神戸市内における蝶類の初
見日 Crude(38):34
- 66) 永幡嘉之(1994) 浜坂町城山初秋の蝶
IRATSUME(18):44-45
- 67) 平尾英治(1995) 丹生・帝釈山系にイシガケ
チョウ定着か きべりはむし23(2):34
- 68) 猪俣涼一・岡本 清(1960) 多可・西脇地方
の昆虫(蝶類) 兵庫生物4(1):24-28
- 69) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録
(第1・2報) 兵庫県豊岡高等学校生物教室
- 70) 柳沢俊二(1968) 甲山周辺の蝶
甲陸生物(3):16-19
- 71) 広利雅美(1977) 三日月町の蝶
てんとうむし(4):5
- 72) 谷川洋行(1977) 夢前町菅潤谷の蝶
てんとうむし(3):7
- 73) 木下賢司(1977) 来日岳の蝶類
IRATSUME(1):21~32
- 74) 谷角素彦(1978) 日高町金山の蝶
IRATSUME(2):11~20
- 76) 京都大学蝶類研究会(1981) 1981年の蝶類記
録 SPINDA(7):1~43
- 77) 京都大学蝶類研究会(1983) 1982年の蝶類記
録 SPINDA(8):1~80
- 78) 服部 保ほか(1997) 蝶類群集による自然性
評価の方法 人と自然(8):41~52
- 79) 宝塚市教育委員会(1992) 宝塚の昆虫類 I
- 80) 橋本光政ほか(1995) 兵庫県の樹木誌 兵庫
県
- 81) 森地重博(1998) 深山と周辺地域の蝶一採集
・観察データー 北摂の昆虫(2):100~125
- 82) 杠 隆史(1998) 深山とその周辺の山々多
紀連山 北摂の昆虫(2):34

(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3-11-8)

(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-7)



兵庫県のタマムシ(1)

高橋 寿郎

タマムシ科は全世界に約15,000種を産するが、その大部分は新旧両大陸の熱帯地方に集中しており、日本には6亜科27属204種を産し(秋山,大桃,1997)暖地に多い。ただ日本に産するタマムシは大型種は少なく小型のナガタマムシ属やチビタマムシ属が大部分を占め、あまり人目を惹く種類は少ない。しかし大部分の種類は各種の樹木の幹また枝、場合によっては葉を食害し、森林害虫または果樹害虫として人間との関係も少なくない。

兵庫県下に産するタマムシはどんなものがあるのだろうか。一応まとめて見ることにした。浅学未熟者のこと故大きな誤りとか脱落があるかと思われる。御叱正、御教示頂くことが出来れば幸いである。

やや長くなりそうなので分割発表させて頂く。

Family Buprestidae Eschscholtz, 1829

タマムシ科

Subfamily Chalcophorinae Lacordaire, 1857

ウバタマムシ亜科

Genus *Chrysochroa* Solier, 1833

ルリタマムシ属

1. *Chrysochroa fulgidissima* (Schönherr, 1817)

タマムシ(ヤマトタマムシ)

かつて江崎佛三博士は Kaempfer, History of Japan (1727年刊)の中のセミの図を示され(新昆虫 Vol. 5, No. 11, p. 21, 1952)「その右下に“金亀 Fan-mio”は実はハンミョウではなくタマムシであるが、これは箱の中にでも保存してあったものを寫真したものらしい」と解説している。即ち Kaempfer は1727年に日本のタマムシをタマムシとしてではなくハンミョウとして図説していたことになる。

秋山黄洋, 大桃定洋は Motschulsky が“Korea, I. Zusima”産を Lectotype として *Chrysochroa coeruleophala* Motschulsky として記載(Etud. Ent. X, p. 6, 1861)された種がこのタマムシに当たることを写真でみせ示して解説している(Jpn. J.

syst. Ent. Vol. 1, No. 2: 175-176, 1995),そして Lectotype 並びに Paralectotype 標本は Tsushima Island, Nagasaki Prefecture, western Japan 産であって not Korea と記している。

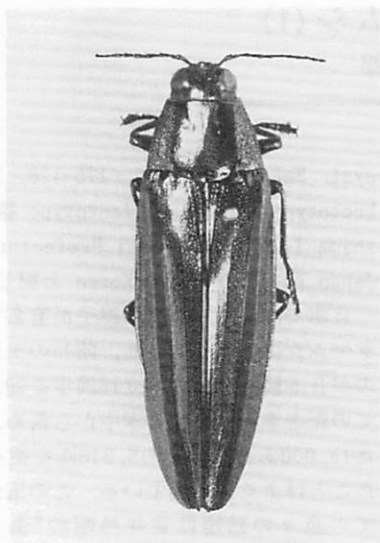
日本では法隆寺の玉虫厨子が有名で、古くからタマムシは知られており、昭和の玉虫厨子というのが日本鱗翅学会の創立15周年を迎えるに当たっての記念事業として日本中から集め、その集まった15,000あまりのうち5,348匹を使って複製されたことはよく知られている。この玉虫厨子についての色々の話題は笠井昌昭の“虫と日本文化”(1937)に詳しい。

寺島良安の“和漢三才図会”巻第53に“吉丁虫(たまむし, キツティンチョン)(俗に玉虫という, 正徳二年~五年)”について詳しく解説があり, “摂州の有馬に多くいる”といった解説も見られる(和漢三才図会 7. 東洋文庫471, 1987. 和漢三才図会 蟲部訳註, 昆虫界, Vol. XII, No. 121-122, 1955). 体長25-40mm. 緑色部は方向により紫藍色となる。体下は金緑色, 側方および腹端に向けて銅赤色を増し, 腹端部は金銅色, まれに全体が鉄錆色を帯びる。エノキ, ケヤキ, サクラ, カシ類, カキ, クワ, ハリエンジュなどの枯木につく。大桃定洋・秋山黄洋は日本各地の本種をカラーで示されている(1997)。県下に広く分布している。場所によっては多く産するようである。峰谷幸雄氏の教示では1997年神戸の鳥原貯水池畔に多く飛翔しているのを見たとのこと。若干前の情報だが伊丹の坂根千氏からも伊丹市付近でも多く飛翔する光景に出会ったとのこと。

産地。洲本市三熊山[堀田, 1959]*, 先山[堀田, 1976]。川辺郡猪名川町民田口, 内馬場[仲田, 1978, 1982], 槻並(lex., 2. VII. 1978)**。川西市笹

*[] 記録からの引用。記録は筆者著目録(1975, 1981, 1984, 1985)参照。

** () 筆者採集。標本は原則として県立人と自然の博物館保管。採集例の多いものは1例のみ掲げ他は etc. として省略する。



Chrysochroa fulgidissima (SCHONHERR, 1817)
タマムシ



Chalcophora japonica (GORY, 1840)
ウバタムシ

ジョージ・ルイスが日本で採集したタマムシとウバタムシ

写真のタマムシ、ウバタムシはジョージ・ルイス(GEORGE LEWIS)が日本から採集したものである(採集地名は不明、G. LEWIS の第1回日本訪問1867-1872での採集品と考えられるので、Hyogo産のものかもしれない)。

1992年日本甲虫学会で G. LEWIS 顕彰として G. LEWIS レリーフを製作、兵庫県立人と自然の博物館へ寄贈、その時パメラギルバート女史の尽力でルイス自身が日本で採集した甲虫18点が、大英博物館から日本甲虫学会経由兵庫県立人と自然の博物館へ寄贈された。そのうちのタマムシ、ウバタムシである。撮影は人と自然の博物館の沢田佳久博士にお願

いした。ここに厚く御礼申しあげる。

部[仲田, 1978], 緑町[藤富, 1995]. 伊丹市[河上, 1984]. 尼崎市西南部[新家, 1991]. 宝塚市大原野, 弥生町[伊藤, 1992]. 西宮市角石町[芦田, 1983]. Hiogo[HEYDEN, 1879]. 神戸市御影[関, 1933], 六甲山(1♀, 15. VII. 1956), 鳥原(1♂, 29. VII. 1971, etc.), 藍那(1ex., 5. VI. 1978, etc.), 妙法寺(1ex., 14. IX. 1978). 明石市明石公園(1♂, 21. VI. 1975). 氷上郡[山本, 1958]. 多紀郡篠山町, 丹南町竜蔵寺[辻, 1970]. 出石郡内町[高橋, 1975, 1982], 床尾山[高橋, 1963, 1982]. 豊岡市神武山[高橋, 1975, 1982]. 美方郡扇ノ山[辻, 1963, 1970, 辻, 岸田, 1970, 高橋, 1982].

Genus *Chalcophora* SOLIER, 1833 ウバタムシ属

2. *Chalcophora japonica* (GORY, 1840)

ウバタムシ

体長24-40mm, 金銅色ないし赤銅色, とくに緑色を帯びる。松類の枯枝につく。成虫越冬するものもあるとのこと。

兵庫県下に広く分布, 普通に産する。

産地。津名郡常陸寺山(1ex., 20. IV. 1974). 洲本市安乎町[堀田, 1959, 1978], 三熊山[堀田, 1959], 先山[久松, 1974, 堀田, 1976], 中河原町厚浜[藤富, 1995]. 三原郡慶野松原(1ex., 26. V. 1983).

川辺郡猪名川町民田[仲田, 1978, 1982]. 川西市一の鳥居(2♂, 17. VI. 1953). 伊丹市[河上, 1984]. 尼崎市西南部[新家, 1991]. 宝塚市武田尾(1♀, 25. VII. 1954), 香合新田, 売布が丘[伊藤, 1992]. 西宮市角石町[芦田, 1983]. 神戸市御影[関, 1933], 六甲山[柴内, 中畔, 1950] (1♀, 13. IX. 1984), 二十渉(1ex., 26. VI. 1955), 鳥原(1ex., 23. VII. 1972), 山の街(1♂, 17. V. 1951). 明石市明石公園(11 exs., 15. VI. 1975, etc.). 小野市山田(1♀, 18. VI. 1987). 加東郡社町三草(1ex., 6. VII. 1989). 飾磨郡家島[上田, 1981]. 相生市三湊山(1ex., 16. VI. 1974). 多紀郡篠山町盃ヶ岳[辻, 1970], 篠山町[辻, 1970]. 氷上郡[山本, 1958]. 出石郡出石町中野[高橋, 1963, 1982]. 城崎郡竹野切浜[高橋, 1975, 1982]. 養父郡氷の山(1ex., 27. VII. 1956) [高橋, 1982]. 美方郡扇ノ山[辻, 1963, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1982], 浜坂(1ex., 17. X. 1978).

Genus *Nipponobuprestis* Osenberg, 1942
マダラタマムシ属

3. *Nipponobuprestis amabilis* (Snellen van Vollenhoven, 1864) アオマダラタマムシ
体長16-29mm.

青緑色を帯び一般に瘦形で, 上翅に各2個のまろい陥凹紋がある。

縦隆線は細く強く, 側縁の鋸歯状は強い。ときに橙色ないし赤色を帯びる。6~7月頃見られる。サクラ, ツゲなどの枯枝につく。かつて水戸の偕楽園のツゲにこのアオマダラタマムシが多くいることを報告, その生態を紹介された記事があった(昆虫界 Vol. VII, No. 59:57-63, 1939)。

そう多くないが県下には広く分布しているように思われる(特に海岸線近くに)。

産地。川西市笹部[仲田, 1978, 1982]. 宝塚市切畑, 売布神社[伊藤, 1992]. 神戸市御影町[関, 1933], 六甲山[矢野, 竹中, 1939], 鳥原(1♀, 17. VI. 1981), 鳥原貯水池畔ひよどり展望公園(1♂, 26. VI. 1997, U. Hachitani leg.), 北区藍那(1♂, 26. V. 1953), 有馬[東, 1971]. 相生市三湊山(1ex., 1. VI. 1974). 三田市香下[三木, 1977]. 氷上郡神楽市島[山本, 1958], 黒井[東, 1971].

4. *Nipponobuprestis querceti* (Saunders, 1873)

クロマダラタマムシ

体長17-28mm. 一般に赤みを帯びるがまれに青緑色を帯び赤味のないものがあると。上翅の縦隆脈は太く弱くやや不明瞭, 側縁部後方の鋸歯状は弱い。エノキの枯樹につくといわれているが兵庫県下での記録は大変少ない。

産地。神戸市六甲山[矢野, 竹中, 1939, 柴内, 中畔, 1950]. 多紀郡篠山町[辻, 1970]. 氷上郡神楽町[山本, 1958].

Subfamily Buprestinae Lacordaire, 1857

タマムシ亜科

Genus *Ovalisia* Kerremans, 1900

クロホシタマムシ属

5. *Ovalisia virigata* (Motschulsky, 1859)

クロホシタマムシ

体長8-13mm. 緑ないし金緑色, まれに青色または橙色を帯びる。背面の黒藍色紋は数多く, 個体変化が多い。ミズナラなどにつく。

兵庫県下では北部の低山地帯に広く分布しているようである。

産地。川辺郡猪名川町上阿古谷[仲田, 1982]. 神戸市北区京地[斉藤, 1996]. 豊岡市伊賀谷[高橋, 1982], 奥岩井(1♂, 19. VI. 1986, Y. Hachitani leg.). 城崎郡香住[辻, 1972, 黒沢, 1976]. 養父郡八鹿町岩崎[佐藤, 1997]. 温泉町桧尾(Hinokio), 村岡町祖岡(Kebioka), 関宮町轟[谷角, 足立, 1985], 扇ノ山[遠山, 1978].

6. *Ovalista vivata* (Lewis, 1892)

マダラクロホシタマムシ

体長6-13mm. 緑ないし金緑色。ときに青または橙色を帯び, 全体赤橙色を帯びることもあるが反射光ではつねに全体緑色となり, 側縁部だけが赤色となることはない。スギ, ひのきなどにつく。

兵庫県下ではそう多く見られないが, 分布は広いのではと考えられる。

産地。川西市, 笹部[仲田, 1978, 1982]. 宝塚市宝梅一丁目[小田中, 1994]. 西宮市夙川[東, 1971]. 神戸市有馬[東, 1971., 小田中, 1994]. 多可郡三谷

(lex., 2. VII. 1975), 鳥羽(1♂, 5. VII. 1975, etc.).
氷上郡青垣町芦田[高橋, 1960, 1962]. 矢栗郡赤西
[遠山, 1978]. 養父郡八鹿町岩崎[佐藤, 1997].

Genus *Descarpentriesina* LERAUT, 1983

コモントタマムシ属

7. *Descarpentriesina chinensis yanoi* (Y. KUROSAWA, 1963) ヤノコモントタマムシ

本種は黒沢良彦博士によって三重県産1♂に基づいて *Poecilota yanoi* Y. KUROSAWA として新種記載された(Bull. Nat. Sci. Mus. Vol. 6, No. 1, p. 90, 1962). その後黒沢良彦博士は *Poecilota chinensis* THÉRY, 1926 の亜種と扱うのが良いとされた(甲虫ニュース, No. 8: 2-3, 1970). その時「三重県」と称する模式標本以外に最近になって奈良市と神戸市有馬温泉でそれぞれ数頭ずつ採集されたところ。この有馬温泉で採集されたというのは誤りで、当時三田学園高等学校1年生であった森 正人氏(北海道大学農学部卒業後現在環境科学株式会社勤務)が三田学園内のポプラ?の樹から採集した2♂1♀ということである(このあたりの経緯については森 正人氏の岳父-故人-にお願いして「きべりはむし」に発表していただいた。「No. 7, No. 2, p. 31-32, 1979」).

その後兵庫県下では採集された記録が見られない。全国的に見ても産地があまり知られていなかったが、1994年岡山県赤磐郡山陽町と熊山町にまたがる新興住宅地の建築現場のヤマナラシ生木に止まっていた本種を採集したことがきっかけとなり、以後同地周辺で多数が採集されたことで大きな話題となった(月刊むし, No. 281, 1994. 標本商でも取り扱っており、案内が何回か送られて来た). 産地. 三田市三田学園[2♂1♀, 24. VI. 1966, M. MORI leg. 森, 1979, 黒沢, 1970, Some ex., Arima sp.].

Genus *Dicerca* ESCHSCHOLTE, 1829

フタオタマムシ属

8. *Dicerca tibialis* LEWIS, 1893

トゲフタオタマムシ?

1980年11月8日、田中 梓先生のお宅にお伺いして虫談に花を咲かしていた時(田中 梓, 神戸山手女子短期大学々長, 伊丹昆虫館長. ハエ目の専門家), 先生が神戸三中時代(現長田高校)高取山で採集されたタマムシが当時出版された「日本の甲虫」, 第3巻, 第2号にカラー図版をつけて三輪勇四郎・中條道雄両博士著「本邦産タマムシ科の新種及稀種図説」の論文が発表されその9図に出ているタイワンフタオタマムシであったと。その後先生は台北帝国大学農学部で学ばれその標本も持参, 三輪勇四郎博士にお見せしたら是非何かに記録しておくようにと云われてそのままになっているというお話であった。標本は勿論台湾に残されたまま帰国されている。標本が見られないのでそれが真のタイワンフタオタマムシであったのかどうか良くわからない。

図版, 図鑑類等を見ていて標題のようにトゲフタオタマムシではないかとしたが, これはあくまでも予想であって意外と違った珍しい種であったのかもしれない。夢のある種で此処では記録種として収録しておく(この種については本誌「Vol. 9, No. 1, p. 33, 1981」を参照頂きたい)。

産地. 神戸市長田区高取山[田中 梓採集, 1930年代].

Genus *Buprestis* LINNÉ, 1758

クロタマムシ属

Subgenus *Buprestis* LINNÉ, 1758

(クロタマムシ亜属)

9. *Buprestis (Buprestis) haemorrhoidalis japonensis* E. SAUNDERS, 1873 クロタマムシ

体長11-12mm. 黒色, 唐金色ないし銅色の光沢があるが, まれに緑色, 青色などを帯びる。マツ類, モミ類, エゾマツ類などの枯枝につく。兵庫県下に広く普通に産する。

産地. 津名郡常陸寺山[堀田, 1978]. 洲本市安乎町[堀田, 1959], 中河原町厚浜[藤富, 1995]. 三原郡南淡町福良[堀田, 1978], 慶野松原(lex., 26. V. 1983). 川西市笹部[仲田, 1978, 1982], 妙見山上[仲田, 1978, 1982]. 伊丹市[河上, 1984]. 尼崎市西南部[新家, 1991]. 宝塚市栄町[伊藤, 1992]. 西

宮市角石町[芦田, 1983]. 神戸市御影[関, 1933], 六甲山[矢野, 竹中, 1939], 烏原(lex., 12. VII. 1956, etc.), 山の街(lex., 19. VII. 1995). 美濃郡吉川町(2exs., 26. VII. 1985, etc.). 多可郡烏羽(lex., 19. VII. 1975). 飾磨郡家島[上田, 1981]. 多紀郡篠山町[辻, 1970]. 水上郡[山本, 1958]. 出石郡出石町桐野[高橋, 1963, 1982]. 城崎郡鏡海岸[辻, 1970]. 養父郡氷の山(1♂1♀, 2. VIII. 1953, etc.)[高橋, 1982]. 美方郡扇の山[辻, 岸田, 1972, 高橋, 1982].

Subgenus *Stereosa* GAGG, 1909

(アカヘリミドリタマムシ亜属)

10. *Buprestis (Stereosa) splendens niponica* HOSCHES-
CKE, 1911 アカヘリミドリタマムシ

美しいタマムシである。日本での産地はかなり限定されている。本種については秋山黄洋, 大桃定洋, 関 草弘による詳しい解説がある(月刊むし No. 291:3-9, 1995).

1997年, 三宅隆三氏により西宮で本種を得たとの連絡を受け, 兵庫県未記録だから発表をおすすめした結果, 月刊むし No. 319誌上に写真をそえて記録された。食樹はアカマツとのこと。

産地。西宮市古川町[三宅, 1997].

11. *Buprestis lecontei* E. SAUNDERS

ベニオビクロタマムシ

松村松年博士が明石で採集された標本に基づいて三輪勇四郎・中條道夫両博士がベニオビクロヒメタマムシ *Buprestis unicus* Miwa et Chujo と記載された(Ent. World, Vol. 3, No. 17, p. 272-273, pl. 105, f. 18, 1935)種は北米産ベニオビクロタマムシ *Buprestis lecontei* W. SAUNDERS であるとのこと(黒沢, 1985)。黒沢良彦博士によれば, 太平洋岸地域から輸入される食葉樹などの木材に付着してやってくるようで, 一応記録種としておく。

産地。明石市[松村採集, 年月不詳, 1935].

12. *Buprestis (Cypriacis) aurulenta* LINNE, 1758

アメリカヒメタマムシ

本種は矢野文彦・竹中英雄により灘区の宇野宅に飛来せるものを *Buprestis aurulenta niponica*

Miwa et Chujo アカヘリミドリヒメタマムシとして記録されたもの(昆虫界 Vol. 7, No. 68:9, 1939)である。尤も三輪勇四郎・中條道夫両博士により青森産で *Buprestis aurelenta niponica* Miwa et Chujo と新亜種記載された種がこれにあたる(昆虫界, Vol. 3, No. 17, p. 273-274, fig. 13, 1935)。黒沢良彦博士はこれらは異名として表記学名で示された(1985)。

太平洋岸地域から輸入される針葉樹などの木材に付着して輸入されたものであろうと考えられ, 土着種ではないと思われるが次のように記録されている。

産地。神戸市灘[1♂, 5. V. 1935, Uno leg., 矢野・竹中, 1939, 黒沢, 1946].

Genus *Eurythyrea* LACORDAIRE, 1835

アオタマムシ属

13. *Eurythyrea tenuistriata* LEWIS, 1892

アオタマムシ

明るい緑色。上翅の両側は金色ないし金赤色, 会合部は青藍色を帯びるものが多いがまれに全体金銅色を帯びるものがある。マツ, モミ類などの針葉樹の枯材につく。

兵庫県下での記録は大変少ない。

産地。宍粟郡赤西[辻, 畑中, 1973., 黒田, 1984].

養父郡氷の山[黒沢, 1994].

Genus *Anthaxia* ESCHSCHOLTZ, 1829

ヒメヒラタタマムシ属

14. *Anthaxia primorjensis* OEBENBERGER, 1935

フチトリヒメヒラタタマムシ

やや青味を帯びた黒色ないし黒色。前胸背板は緑ないし金紅色に縁取られ, 腹部背板両側の可視部分は金紅色, 体下は黒色。

本種は松村松年博士が札幌丸山で採集した標本に基づいてヒメヒラタタマムシ *A. proteus* E. SAUNDERS, 1873 の変種として三輪勇四郎・中條道夫両博士によって美しいカラー図版をつけて記載(昆虫界 Vol. 17, pl. 1, p. 276, 1935)された var. *rubromarginata*, var. *viridomarginata* が共に全く違

った表記種に当たるとのこと。食樹としてコナラ、クヌギ、アベマキ、クリが示されている。

兵庫県下に記録は意外と少ない。龍野市神岡町にはわりといるようだ。

産地。川西市大和〔仲田, 1978, 1982〕。龍野市神岡町(2♂1♀, 4. VI. 1988, 高橋, 1989)。

15. *Anthaxia proteus* E. SAUNDERS, 1873

ヒメヒラタタマムシ

体長 3-3.5mm。♂は全体緑色、光沢を欠く、ときに全体オリーブ色を帯びる。♀は暗色で大型。マツ類の枯枝につくがナラ、クヌギなどにつくこともあると。

兵庫県下にはごく普通に見られる種である。

産地。洲本市由良町〔堀田, 1973〕。先山〔堀田, 1976〕。安乎町〔堀田, 1978〕。川辺郡猪名川町民田, 上阿古谷〔仲田, 1978, 1982〕。能勢妙見山(1ex., 30. VII. 1982)。伊丹市〔河上, 1984〕。尼崎市西南部〔新家, 1991〕。宝塚市玉瀬〔伊藤, 1992〕。西宮市角石町〔芦田, 1983〕。船坂(1ex., 5. VI. 1987)。神戸市六甲山(矢野, 竹中, 1938)。二十渺(2exs., 26. VI. 1955)。鳥原(1ex., 19. V. 1980, etc.)。藍那(1ex., 26. V. 1993, etc.)。山の街(1ex., 1. VI. 1958)。金剛童子山(5exs., 24. VI. 1956)。逢山峽(1ex., 1. VII. 1986, etc.)。五社(2exs., 25. VI. 1959)。八多町屏風(3exs., 4. VI. 1993)。三木市口吉川(4exs., 3. VII. 1986)。小野市山田(1ex., 18. VI. 1987, etc.)。来住町(5exs., 30. V. 1991, etc.)。美養郡吉川町(3exs., 6. VI. 1985)。奥山(2exs., 5. VII. 1986)。加東郡東条町森(2exs., 22. VI. 1984, etc.)。社町三草(2exs., 22. V. 1989, etc.)。飾磨郡家島〔上田, 1981〕。龍野市神岡町(4exs., 4. VI. 1988, etc.)。揖保郡新宮町福原(1ex., 10. VI. 1992)。相生市三湊山(1ex., 8. VI. 1974)。宍粟郡水谷(1ex., 17. VII. 1981)。多紀郡篠山町〔辻, 1970〕。雨石山〔林, 1995〕。氷上郡〔山本, 1958〕。山南町(2exs., 5. VII. 1990)。城崎郡日高町奈佐路(1ex., 25. V. 1986, etc.)。

Subfamily *Chrysobothrinae* LAPORTE et GORY, 1837

ムツボシタマムシ亜科

Genus *Chrysobothris* ESCHSCHOLTZ, 1829

ムツボシタマムシ属

16. *Chrysobothris amurensis* P. O., 1904

アムールムツボシタマムシ

ムツボシタマムシによく似ていて混同されやすいが、前胸背板がほぼ矩形で前方に狭まることなく、側縁部が強く紅色に縁どられ、中央部の後半に紅色の縦条があり、上翅の点刻は不明瞭で間室は強くしわ状または顆粒状に隆まる点で区別されると(黒沢, 1985)。

兵庫県下からは次の記録が知られているだけである。

産地。宍粟郡赤西〔AKIYAMA & OHMOMO, 1979〕。美方郡扇の山〔AKIYAMA & OHMOMO, 1979〕。

17. *Chrysobothris ohbayashi* Y. KUROSAWA, 1948

オオムツボシタマムシ

体長14-20mm。青銅黒色、頭胸部が赤味を帯びることがある。クヌギ、カシ類などの枯材につく。兵庫県下での記録は少ない。

産地。神戸市北区京地〔斉藤, 1996〕。姫路市青山〔相馬, 1997〕。氷上郡市島〔山本, 1958〕。養父郡八鹿町岩崎〔佐藤, 1997〕。美方郡温泉町竹田〔佐藤, 1988〕。

18. *Chrysobothris samurai* OGBENBERGER, 1935

ツシムツボシタマムシ

やや扁平、上翅の縦隆脈は4本で完全であるが隆起は弱い。前胸背板は横位の矩形で前方にややひろがる。ブナ科の枯枝につく。兵庫県には広く産するように思われるが、記録は少ない。

産地。猪名川町三草山〔森, 1993〕。猪瀬の南西、杉生新田〔森, 1992〕。宝塚市香合新田〔伊藤, 1992〕。多紀郡雨石山〔林ら, 1995〕。宍粟郡波賀町戸倉〔大平, 1982〕。美方郡温泉町蒲生峠〔谷角, 黒井, 1986〕。

19. *Chrysobothris succedema* E. SAUNDERS, 1873

ムツボシタマムシ

体長7-12mm。体色は変化が多く紫黒色、銅紫色から青銅黒色まで変化する。種々の広葉樹、ときにマツ材の針葉樹の枯材または枯枝につく。兵庫県下には広く分布、やや普通に産する。

産地。洲本市先山[久松, 1974]。川辺郡猪名川町民田[仲田, 1978]。川西市笹部, 畦野, 横地[仲田, 1978, 1982]。伊丹市[河上, 1984]。宝塚市大峰山, 売布が丘[伊藤, 1992]。西宮市角石町[芦田, 1983]。神戸市六甲山[矢野, 竹中, 1938]。鳥原(lex., 24. VI. 1982), 藍那(lex., 19. VI. 1978, etc.)。氷上郡柏原[山本, 1958]。養父郡氷の山[辻, 1970, 高橋, 1982]。八鹿町岩崎[佐藤, 1997]。美方郡扇の山[辻, 1963, 1970, 辻・岸田, 1982, 高橋, 1982]。

(兵庫県甲虫相資料・345)

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

拙著“日本に産するコガネムシ類の分類目録”に追加すべき日本産のコガネムシ

高橋 寿郎

最近、三宅義一氏から多数のコガネムシに関する文献別冊の御恵送に預かった。その中で拙著“日本に産するコガネムシ類の分類目録”(きべりはむし Vol. 25, No. 3, 特別号, 1997)に追加すべき日本産コガネムシが次のごとくあったので、此处に報告しておく。

貴重な論文別冊を御恵与下さった三宅義一氏に厚くお礼申しあげる。

Trox uenoi matsumurai Y. Miyake et Yamaya, 1995

オキナワコブスジコガネ

Bull. Nagaoka Mun. Sci. Museum, (30):31-32, Figs. 1&7, 1995.

Holotype: ♂, Kunigami Son, Kunigami-Gun, Okinawa Is., Ryukyus 21. V. 1994. M. MATSUMURA leg.

paratypes: 1♂, Ie Rindo, Kunigami Son, Okinawa Is., 3. VII. 1993, M. Kubota leg., 3♂♂, 1♀, same data as the holotype.

Maladera imasakai Y. Miyake et Yamaya, 1995

ヤンバルピロウドコガネ

Bull. Nagaoka Mun. Sci. Museum (30):34-35, Figs. 3&10, 1995.

Holotype: 1♂, Ie Rindo, Kunigami, Northern part of Okinawa Is., 25. VII. 1993, M. Kubota leg.

paratypes: 9♂♂, 4♀♀, Terukubidake, Okinawa Is., 19. VII. 1976: 1♂, 20. VII. 1976, Y. Kusui leg (in coll. Kusui).

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

上郡町でオオセンチコガネを採集 高島 昭

赤穂郡上郡町でオオセンチコガネが、本会会員の蛭田永規氏により採集されているので報告しておく。

上郡町上郡 21. IV. 1998 1♂ 蛭田永規採集

本種は、高橋(1996)によると兵庫県下各地に分布し、西播地方では相生市三瀬山でも採集されているという。今回の記録は上郡町の中心地付近での記録であり、周辺の既知産地は前述の三瀬山である。採集した個体は、県上郡総合庁舎北側の県道上を歩行中であつたといい、おそらく前夜、灯火に飛来したものであろうと推測されるが、三瀬山とはかなりの距離(直線距離で約9 km)があり、近隣の山を含め当地域では広く分布していると考えられる。今後も注意して観察したい。なお、採集データと個体を提供いただいた蛭田氏には御礼申し上げます。

<参考文献>

高橋寿郎(1996) オオセンチコガネとセンチコガネ きべりはむし24(1):7-13.

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

武庫川のキアシハナダカバチモドキ

新家 勝

本誌の第25巻1号に、人と自然の博物館中西明徳先生の報文「キアシハナダカバチモドキの大発生について」が掲載され、三田市と神戸市北区における3件の発生事例の報告とともに、県下のこれまでの発生地に須磨海岸がある、武庫川の川原での目撃例がある、確実な発生地は少ない、参考文献は少なく発生についての情報も少ないことなどが明らかにされていた。

私は1980年以来、地元の武庫川で度々本種を目撃し、撮影もしている。武庫川は県下の確実な発生地であると考えられるので、観察結果を紹介したい。

[従来の観察結果]

1980. 8. 3 西宮市田近野町, 武庫川堤防
カワラサイコの花で吸蜜中のもの、堤防上の地面で穴掘り中のものを目撃。
1982. 7. 30 同上
堤防上の地面で穴掘り中のものを撮影。
1983. 8. 12 宝塚市東洋町, 武庫川堤防
キレハノブドウの花で吸蜜中のものを撮影。
1989. 7. 15 西宮市田近野町, 武庫川堤防
墓地および堤防上の地面で目撃。
1989. 7. 24 西宮市田近野町, 武庫川堤防
墓地および堤防上の地面で穴掘り中のものを撮影。
1991. 7. 21 西宮市田近野町, 武庫川堤防
墓地および堤防上の地面で目撃。
1991. 7. 28 西宮市日野町, 武庫川高水敷
地面で目撃。
1994. 7. 22 同上
墓地および堤防上の地面で目撃。

武庫川でヒメジュウジナガカメムシの観察をしていた1980～1982年の間、食草のガガイモ以外にもこのカメムシが吸蜜する花があるだろうと、カワラサイコの群落で観察していたところ、その周

辺で度々、キアシハナダカバチモドキに出会った。これまで見たことのない、きれいなハチだったので、希少種とは知らないまま、撮影したり、フィールドノートへ記録していた。

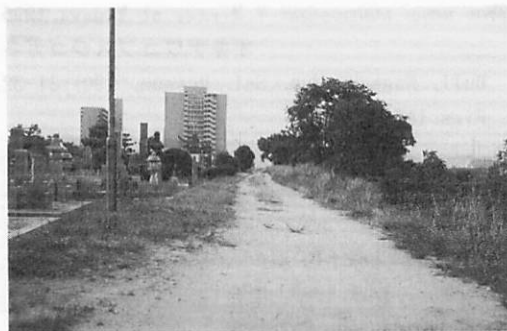
次に、1983～1988年の間は、発生期にこの場所を訪れなかったのが、宝塚市での撮影例があるだけであるが、トンボの観察をしていた1989～1992年の間は時々見掛けたので、記録は忘れずに取り、撮影もしていた。その後は発生期にあまり訪れなかったのが、1994年に目撃しただけで、1993, 1995, 1996年については記録がない。

[1997年の観察結果]

1997年は、発生期に度々この場所を訪れたので、本種の発生を十分に確かめ、行動もかなり観察できた。

1997. 7. 16 カワラサイコの花はよく咲いていたが、吸蜜中のものは見られず、堤防上に1頭、墓地内に3頭、いずれも地面に静止しているのを見付け、証拠として1頭採捕した。また、これまで気付かなかったが、よく似た小型種のヤマトスナハキバチがおり、多数、地面近くを飛んでいるのが見られた。

1997. 7. 20 カワラサイコの花はよく咲いていたが、吸蜜中のものは見られず、墓地の地面で



武庫川での発生地

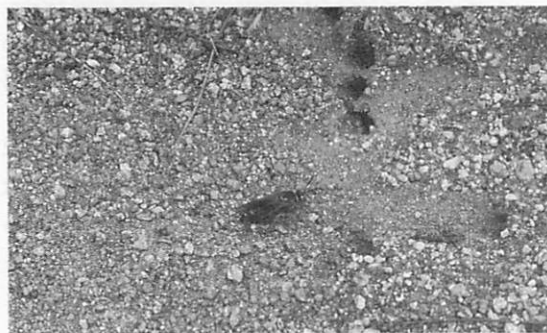
1997. 7. 16 西宮市田近野町



巣穴を掘る
1982. 7. 30 西宮市田近野町



キレハノブドウで吸蜜する
1983. 8. 12 宝塚市東洋町



余坑(ダミー)を含む複数の穴が見られる
1989. 7. 24 西宮市田近野町



巣穴の周りを監視する
1997. 8. 4 西宮市田近野町

5頭が静止し、2頭が巣穴を掘っていた。また、ヤマトスナハキバチは多数、地面近くを飛んでおり、証拠としてこれも1頭採捕した。

1997. 7. 29 小雨のぱらつく曇天の中、カワラサイコにも地面にも見られず、1頭が飛んでいるのを見ただけであった。また、ヤマトスナハキバチも見られなかった。

1997. 7. 30 墓地の地面で穴掘り中のもの1頭と静止中のもの2頭、ほかに飛翔中のもの1頭が見られた。ヤマトスナハキバチも多数いて、穴掘りを始めており、併行して複数の穴を掘っているものもいた。

1997. 8. 4 墓地で巣穴の周辺を監視しているもの1頭、墓地内を飛翔中のもの3頭が見られたが、穴掘り中のものと地面に静止中のものは見られなかった。7. 20および7. 30に穴掘りしていた所では、いずれも巣

穴が埋められており、1カ所を除き成虫の姿も見られなかった。幼虫の餌探しや吸蜜などに出かけているのか、営巣をやめて立ち去ったのかは分からなかった。

1♀が監視中の場所では、巣穴は、3.6m×3.6mの区画に7個掘られていた。ヤマトスナハキバチは多数見られた。

1997. 8. 10 巣穴はすべて埋められ、地上で行動しているものもおらず、飛翔中のものを1頭見ただけだった。給餌が終わったので、入り口を埋めたのではないかと思った。ヤマトスナハキバチも減少していた。

1997. 8. 14 堤防上の通路で飛翔中のものと巣穴掘り中のもの各1頭を見ただけだったが、巣穴を掘っていたものは、数分後には入り口を埋めて、飛び去っていた。ヤマトスナハキバチは8. 10と同程度見られた。

1997. 8. 16 巣穴掘り中のものと周辺の草むら内を

徘徊しているもの各1頭を見ただけだった。巣穴を掘っていたものは、約30分後には入り口を埋めて、飛び去っていた。徘徊していたものは幼虫の餌探しをしていたと思われる。ヤマトスナハキバチは、8.14より減少したが、まだかなり見られた。

1997.8.20 1頭も見られなかった。ヤマトスナハキバチも減少し、数頭見ただけだった。

以上のことから、「本種は、西宮市田近野町付近の武庫川に生息しており、毎年、7月中旬から8月中旬にかけて約1ヶ月の間に成虫が出現している」と言える。また、次のような行動が見られる。巣穴掘りの始める以前、地面に静止しているものは、顔を上げ、触角をびんと伸ばし、左右を見回しては時々、向きを変える。周囲を見張っているようであり、他の個体が近付くと、飛び上がって追跡し、追い払う。追跡は、他の個体だけでなく、アシナガバチ類やツチバチ類、さらに低空を飛ぶウスバキトンボにまで及ぶ。そして、周囲を飛んで巡回し、ほぼ同じ場所に戻ってくる。巣穴の掘られそうな場所を見付け、邪魔者を排斥しているようで、後日、中西先生から、それはひであって早の発生を待っているのではないかと、ご見解とともに、習性に関する文献[参考文献*1および*2(抜粋)]をいただいた。

少し日が経つと、このようなものの行動だけでなく、巣穴を掘る早が見られる。広い傾斜地の内この場所では、巣穴は平坦地に掘られる。写真でも分かるように1つの墓地区画に数個掘られているが、文献に示される余坑(グミー坑)が含まれているはずである。巣穴を掘った後は、早は少し飛んでは巣穴を巡回し、巣穴の上や近くに着地して周囲を監視するような行動を見せる。時に巣穴に入っしばらくして出てくるのは、内部の点検のためらしい。また、区画に侵入する他の昆虫を追い払うだけでなく、時々周囲を飛んで巡回している。また、ハリバエの1種らしいのにつきまといることがある。

巣穴を掘っていたのに、しばらくして埋め戻したのは、文献で述べられるように、外出中は巣穴

をふさぐためであって、一度ふさいだ入り口を掘り返して給餌し、再度埋め戻していたものと思われる。

文献から分かるように、巣穴は堤防上の通路では砂地に掘られる。また、墓地では玉砂利を敷いた区画ではなく、砂質土やアンツーカーを敷いた区画に限られている。堤防は河原に堆積していた砂礫を積み上げて造られているので、以前は堤防上の通路でも盛んに巣穴を掘っていた。しかし、最近ではクルマの進入などにより踏み固められたこと、カワラサイコに加えてヨモギ、シバ、コマツナギ、メヒシバなどが広がってきたことなどのため、あまり利用されなくなった。また、河原の砂地での営巣が見られないのは、増水時に冠水するためであると思われる。

この場所での餌となる直翅類の種類など、調べたいことが幾つかある。真夏の直射日光の下、大変であるが、文献を手掛かりにこれからも観察したい。

ヤマトスナハキバチ：腹部背面の斑紋の形状が、図鑑と若干異なるが、ヤマトハナダカバチモドキではないかと推定していたところ、同種であって和名はヤマトスナハキバチに改称されていると、東 正雄先生からご教示いただいた。

なお、この報告をするにあたり、ご指導いただいた中西明徳先生および東 正雄先生にお礼を申し上げます。

<参考文献>

- キアシハナダカバチモドキ(*Stizus pulcherrimus* SMITH)の習性 (むし15, 1943) (*1)
- 日本産蜂類生態図鑑 講談社 1982 (*2)
- 擬鼻高蜂と鼻高蜂の習性 (昆虫 Vol. 10, No. 5, 1936)
- キアシハナダカバチモドキの大発生について (きべりはむしVol. 25, No. 1, 1997)
- 原色昆虫大図鑑 Ⅲ 北隆館 1973

(NIINOMI MASARU 宝塚市光明町8-57)

黒川の蛾

兵庫県産蛾類分布資料・8

高島 昭

はじめに

川西市黒川地区は大阪府との境界に近く、信仰で有名な能勢妙見山の西麓に位置し、このあたりを代表する低山地である。当地区の地勢や自然環境の特徴については木下(1997)による報告があるとおおり、今はほとんど見られなくなった台場クヌギを象徴とする里山の環境が比較的に残っている貴重な地域である。このような環境はまっ先に開発の波にのまれて消滅しやすい。北摂地域の蛾については、すでに妙見山、上阿古谷、箕面、宝塚などで詳しい調査が行われ報告されているが、黒川地区は地理的にこれらの地域の中心に位置することと、里山という人為的に維持されてきた環境での蛾相調査が必要であると考え、当地での調査を行った。その結果、いちおうの成果が得られたので報告する。

調査方法

調査場所は、黒川公民館の東約60mの丘陵地とした。ここは西向き斜面の小規模な果樹園(クリ園)とコナラ、アベマキを混じたアカマツ林の接点付近で、小さな竹藪を挟んで西側には畑、北側には谷間に棚田が小さな流れに沿って広がるという半人工的な環境である。採集はライトトラップ(20Wの白色蛍光灯、青色蛍光灯、ブラックライト各1本を設置)法により、1996年4月から1997年11月までほぼ月1回のペースで実施した。ただし、厳冬期の調査は実施していない。

調査結果の概要

27科454種を確認できた。小蛾類については充分採集できておらず、未同定のものも多い。また、晩秋から早春にかけての調査ができていないので、実際の生息種類数はこれよりかなり多いと思われる。概して里山を特徴づける種類が多く、箕面、宝塚、猪名川などとの共通種が大部分を占める。その多くは二次林に普通に見られる種が多く、耕作地が近いので作物の害虫として知られる種類やメイガ類が多いのも特徴である。

しかし、スギタニマドガ、ケナガチビクロノメ

イガ、ミドリフトメイガ、オオトウアツバ、ヨシノクルマコヤガ、キスジツマキリヨトウ、コテングアツバなどの暖地性の種やウストビモンハマキ、ギンスジツタガ、ニッコウトガリバ、シロモンアオヒメシャク寒地性の種も見られ、シロズマダラヒメハマキ、オオフサキバガ、イッシキオオフサキバガ、ハラナガキマダラノメイガ、フタシロテンホソマダラメイガ、ヒコサンカバナミシャク、ツマモンコブガ、ヒロバチビトガリアツバ、ヤマトアツバ、ツマテンコブヒゲアツバなど注目すべき種も見られるなど、ただの里山の二次林としては多様な蛾相を示している。冒頭でも述べたように人為的に維持されてきた環境下でこれだけの種類数が得られたことは大変興味深い。

黒川で採集した蛾の目録

配列は講談社の日本産蛾類大図鑑に従い、注目すべき種には簡単なコメントを付した。なお、採集データに(近藤)とあるのは近藤伸一氏の採集によるもので、それ以外は筆者採集である。

また、最後になったが今回の調査にあたり、黒川公民館の宇野館長及び川西市教育委員会には施設利用の便宜をはじめ多大な御理解と御協力を賜った。近藤伸一氏には調査に同行していただいた。また、山本義丸氏には写真による標本の同定をはじめ、北摂地域の蛾の分布について多くの情報をいただいた。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

コウモリガ科 HEPIALIDAE

1. *Endoclyta excrescens* (Butler)
キマダラコウモリ 13. VII. 1996, 1♀

ボクトウガ科 COSSIDAE

<ボクトウガ亜科 COSSINAE>

1. *Cossus cossus* (Linnaeus) オオボクトウ
10. VIII. 1996, 2♀; 5. VII. 1997, 1♀
本種はこれまで県下での記録が見られない。
2. *Cossus vicarius* Walker ボクトウガ
5. VII. 1997, 1♂

<ゴマフボクトウ亜科 ZEUZERINAE>

3. *Zeuzera multistrigata* Moore ゴマフボクトウ
2. VII. 1997, 1♂

スガ科 YPONOMEUTIDAE

<クチブサガ亜科 PLUTELLINAE>

1. *Ypsolopha saitoi* Moriuti
マエシロククチブサガ 20. IX. 1997, 1♂
一般に小蛾類は同定が困難なこともあって採集されないことが多く、本種の県下での記録は見られない。個体数は少ないものではない。

<スガ亜科 YPONOMEUTINAE>

2. *Thecobathra anas* (Stringer)
マルギンパネスガ 20. IX. 1997, 1♀
県下では南淡町(藤平, 1987)で記録があるだけである。飛来した個体数は多かった。

ハマキガ科 TORTRICIDAE

<ハマキガ亜科 TORTRICINAE>

1. *Archips audax* Razowski アトキハマキ
12. X. 1996, 1♀ ; 7. VI. 1997, 1♂
2. *Archips breviplicatus* Walsingham
ホソアトキハマキ 12. X. 1996, 1♀
3. *Archips issikii* Kodama モミアトキハマキ
7. VI. 1997, 2♂
本種はこれまで兵庫県での報告がない。
4. *Archips fuscocupreanus* Walsingham
ミダレカクモンハマキ 20. IX. 1997, 1♂
5. *Archips nigricaudanus* (Walsingham)
シリグロハマキ 13. VII. 1996, 1♀ (近藤) ;
7. VI. 1997, 1♀ ; 20. IX. 1997, 1♀
6. *Hoshinoa longicellana* (Walsingham)
アトボシハマキ 5. VII. 1997, 1♂
7. *Homona magnanima* Diakonoff チャハマキ
20. IX. 1997, 1♂
8. *Adoxophyes orana* (Fischer von Röslerstamm)
リンゴノコカクモンハマキ 20. IX. 1997, 1♂
9. *Argyrotaenia lirata* (Christoph)
フタモンコハマキ 12. X. 1996, 1♀
10. *Argyrotaenia lacernata* Yasuda
ウストビモンハマキ 18. V. 1996, 1♂ (近藤)
本種は兵庫県からこれまで記録がない。大図鑑では北海道から中部地方にかけて主に分布し、徳島県剣山からも記録があるが西南日本では少ない種のようなのである。

11. *Tortrix sinapina* (Butler) ウスアミメハマキ
7. VI. 1997, 1♀

<ヒメハマキガ亜科 OLETHREUTINAE>

12. *Bactra furfurana* (Howorth)
イグサヒメハマキ 20. IX. 1997, 1♂
13. *Ancylis partitana* (Christoph)
カバカギバヒメハマキ 18. V. 1996, 1♂
県下ではこれまで氷上郡(山本, 1997)で記録されている。本種はミズナラ、モンゴリナラが食樹としてあがっているが、黒川にはこれらの種はなく、ナラガシワ、コナラなどを食べているものと思われる。
14. *Rhopalovalva pulchra* (Butler)
キカギヒメハマキ 16. VI. 1996, 1♂
15. *Epiblema foenella* (Linnaeus)
ヨモギネムシガ 2. VIII. 1997, 1♀
16. *Epiblema inconspicua* (Walsingham)
クロウンモヒメハマキ 7. VI. 1997, 1♂
これまで宝塚市(東ほか, 1993)で記録があるだけである。
17. *Griselda toshimai* Kawabe
シロズマダラヒメハマキ 18. V. 1996, 1♂
東京高尾山、長野県那須温泉、香川県、足摺岬、対馬などで記録があるが県下からは記録がない。
18. *Cydia danilevskyi* (Kuznetsov)
ヨツメヒメハマキ 20. IX. 1997, 1♀
19. *Cydia kurokoi* (Amsel) クリミガ
7. IX. 1996, 1♀

ホソハマキガ科 COCHYLIDAE

1. *Phtheochroides clandestina* Razowski
ヨモギオオホソハマキ 13. VII. 1996, 1♂ ;
5. VII. 1997, 1♂

キバガ科 GELECHIIDAE

1. *Aroga mesostrepta* (Meyrick)
シロモンクロキバガ 18. V. 1996, 1♂
2. *Dichomeris horoglypta* Meyrick
セグロフサキバガ 9. XI. 1996, 1ex.
3. *Gaesa atomogyrsa* Meyrick オオフサキバガ
12. X. 1996, 1♂
本種はこれまで中部から近畿にかけてのみ採集されており局地的な分布をする。兵庫県下からは初記録となる。
4. *Telephila issiki* Okada

イッシキオオフサキバガ 12. X. 1996, 1♀
本種も少ない種であるようだ。兵庫県下からはこれまで記録が見あたらず、初の記録となる。

マダラガ科 ZYGAEIDAE

1. *Pidorus atratus* Butler ホタルガ
20. IX. 1997, 1♂
2. *Chalcisia remota* Walker シロシタホタルガ
5. VII. 1997, 1♂
3. *Elcysma westwoodii* (Vollenhoven)
ウスバツバメガ 20. IX. 1997, 1♂

イラガ科 LIMACODIDAE

1. *Narosoides flavidorsalis* (Staudinger)
ナシイラガ 10. VIII. 1996, 1♂
2. *Monema flavescens* Walker イラガ
10. VIII. 1996, 1♂
3. *Microleon longipalpis* Butler テングイラガ
13. VII. 1996, 2♂(近藤) ; 7. VI. 1997, 1♂
4. *Phrixolepia sericea* Butler アカイラガ
7. IX. 1996, 2♂(近藤) ; 13. VII. 1996, 1♂(近藤)
5. *Austrapoda dentata* (Oberthür)
ムラサキイラガ 10. VIII. 1996, 1♂
6. *Parasa sinica* Moore クロシタイラガ
10. VIII. 1996, 1♂ ; 5. VII. 1997, 1♂
7. *Parasa consocia* Walker アオイイラガ
10. VIII. 1996, 1♂ ; 2. VIII. 1997, 1♂
8. *Phlossa conjuncta* (Walker) タイワンイラガ
13. VII. 1996, 1♀ ; 5. VII. 1997, 1♂
9. *Naryciodes posticalis* Matsumura ヒロズイラガ
5. VII. 1997, 1♀

これまで宝塚市(東ほか, 1992)で記録されているだけである。小型で地味な種で、これまで見逃されている可能性が高い。平地から低山地に広く分布すると思われる。

マダガ科 THYRIDIDAE

<アカジマダガ亜科 STRIGLINAE>

1. *Strigina cancellata* (Christoph)
アカジマダガ 13. VII. 1996, 1♂(近藤) ;
3. V. 1997, 1♀ ; 5. VII. 1997, 1♂

<マダラマダガ亜科 SIGULINAE>

2. *Rhodonecra vittula* Guenée マダラマダガ
3. V. 1997, 1♂

3. *Rhodonecra palida* (Butler)

ウスマダラマダガ 10. VIII. 1996, 1♂ ; 5. VII. 1997, 1♀

4. *Rhodonecra sugutanii* Matsumura

スギタニマダガ 13. VII. 1996, 1♂ ; 5. VII. 1997, 1♂

兵庫県レッドデータブックのCランクに指定されている種である。県下では神戸市、西脇市、姫路市、南淡町など南部の里山的環境で得られており、広く分布すると思われる。

メイガ科 PYRALIDAE

<ツツガ亜科 CRAMBINAE>

1. *Chilo sacchariphagus* (Bojer) スジツツガ
10. VIII. 1996, 1♂

比較的最近記載された種で大凶蠶によると福岡、佐賀、大阪などで記録されている。県下では高砂市(岡本, 1997)、宝塚市(東ほか, 1993, 新家, 1986)など南部の平坦地から低山地で記録があり、少ないながら広く分布すると思われる。

2. *Chrysoteuchia distinctella* (Leech)

テンスジツツガ 7. VI. 1997, 1♀

3. *Crambus humidelus* Zeller ギンスジツツガ
5. VII. 1997, 1♀

北方系の種で中部以北に主たる分布域があり、九州でも記録があるらしい。県下では加美町の千ヶ峰(岡本・猪股, 1962, 岡本, 1998)で古い記録があるだけである。

4. *Ancylolomia japonica* (Zeller) ツツガ

13. VII. 1996, 1♀ ; 7. IX. 1996, 1♀

<ニセノメイガ亜科 EVERGESTINAE>

5. *Evergestis forficalis* (Linnaeus)

ナニセノメイガ 18. V. 1996, 1♂ ; 3. V. 1997, 1♂

<ノメイガ亜科 PYRAUSTINAE>

6. *Cotachena alysoni* Whalley

クロスカシトガリノメイガ 13. VII. 1996, 1♂(近藤)

暖地性の種で関東以西に分布するが、兵庫県からはこれまで記録がない。

7. *Pileocera sodalis* (Leech)

コガタシロモンノメイガ 10. VIII. 1996, 1♀

8. *Mabra charonialis* (Walker)

ミツテンノメイガ 7. IX. 1996, 1♂

9. *Spoladea recurvalis* (Fabricius)

- シロオビノメイガ 7. IX. 1996, 1♂; 9. XI. 1996, 1♂1♀
10. *Agrotera posticalis* Wileman
クロウスムラサキノメイガ 7. VI. 1997, 1♂
11. *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenée)
コブノメイガ 9. XI. 1996, 1♂
12. *Bocchoris inspersalis* (Zeller)
シロモンノメイガ 7. VI. 1997, 1♂
13. *Chabula telphusalis* (Walker)
オオシロモンノメイガ 7. IX. 1996, 1♂; 12. X. 1996, 1♂
14. *Analthes semitritalis* Lederer
シロヒトモンノメイガ 3. V. 1997, 1♂
15. *Analthes maculalis* (Leech)
ハラナガキマダラノメイガ 13. VII. 1996, 1♂
比較的少ない種で、県下ではこれまで西脇市(岡本・猪股, 1962)、洲本市(登日, 1974)で記録があるだけである。
16. *Conogethes punctiferalis* (Guenée)
モモノゴマダラノメイガ 7. IX. 1996, 1♀
17. *Nacoleia commixta* (Butler)
シロテンキノメイガ 7. VI. 1997, 1♂1♀
18. *Omiodes indicata* (Fabricius)
マエウスキノメイガ 13. VII. 1996, 1♂
19. *Omiodes noctescens* Moore キバラノメイガ
10. VIII. 1996, 1♂; 7. VI. 1997, 1♂; 2. VIII. 1997, 1♂
20. *Preneopogon catenalis* (Wileman)
ナカキトガリノメイガ 10. VIII. 1996, 1♂
比較的少ない種で、県下ではこれまで神戸市・宝塚市(東ほか, 1993)、南淡町(藤平, 1996-b)で記録されている。
21. *Goniorhynchus exemplaris* Hampson
クロズノメイガ 10. VIII. 1996, 1♂; 7. IX. 1996, 1♂; 7. VI. 1997, 1♂
22. *Goniorhynchus clausalis* (Christoph)
トビヘリキノメイガ 10. VIII. 1996, 1♂
23. *Lygropia yerburii* (Walker)
ウスグロヨツモンノメイガ 10. VIII. 1996, 1♂
個体数の少ない種で、兵庫県ではこれまで記録が見られない。
24. *Palpita inusitata* (Butler) ヒメシロノメイガ
12. X. 1996, 1♂; 9. XI. 1996, 1♀
25. *Sinibotys evenoralis* (Walker)
セスジノメイガ 7. VI. 1997, 1♂
26. *Maruca vitrata* (Hübner) マメノメイガ
12. X. 1996, 1♂
27. *Nomophila noctuella* (Denis & Schiffermüller) ワモンノメイガ
13. VII. 1996, 1♀(近藤); 12. X. 1996, 1♂
28. *Bradina geminalis* Caradja
モンウスグロノメイガ 10. VIII. 1996, 1♂
広域分布種であるが兵庫県ではこれまで宝塚市(東ほか, 1993, 新家, 1987)で記録されているだけである。地味な色彩の種で飛来しても敬遠されているのだろう。
29. *Herpetogramma stultalis* (Walker)
ケナガチビクロノメイガ 7. IX. 1996, 1♂
関東以西に分布する暖地性の種であるが、兵庫県ではこれまで記録がない。
30. *Herpetogramma luctuosalis* (Guenée)
モンキクロノメイガ 13. VII. 1996, 1♀(近藤); 10. VIII. 1996, 1♂; 7. IX. 1996, 1♂1♀(近藤); 3. V. 1997, 1♂; 5. VII. 1997, 2♂
31. *Paranacoleia lophophoralis* (Hampson)
ヒロバウスグロノメイガ 20. IX. 1997, 1♀
32. *Diasemia lifferata* (Scopoli)
シロアヤヒメノメイガ 20. IX. 1997, 1♀
33. *Diasemia accalis* (Walker)
キアヤヒメノメイガ 5. VII. 1997, 1♀; 2. VIII. 1997, 1♂
34. *Uresiphita tricolor* (Butler)
モンシロルリノメイガ 13. VII. 1996, 1♂
35. *Prodasyncnemis inornata* (Butler)
キムジノメイガ 7. IX. 1996, 1♀(近藤)
36. *Nomis albopedalis* Motshulsky
ホシオビホソノメイガ 18. V. 1996, 2♂; 7. IX. 1996, 1♂
37. *Ostrinia furnacalis* (Guenée) アワノメイガ
7. IX. 1996, 1♂1♀(近藤)
38. *Ostrinia scapularis* (Walker) フキノメイガ
7. IX. 1996, 1♂; 3. V. 1997, 1♂1♀; 7. VI. 1997, 1♂1♀
39. *Anania verbascalis* (Denis & Schiffermüller)
ヒメトガリノメイガ 7. VI. 1997, 1♂
＜ミズメイガ亜科 NYMPHULINAE＞
40. *Nymphula interruptalis* (Pryer)
マダラミズメイガ 7. IX. 1996, 1♀
41. *Nymphula responsalis* (Walker)
ヒメマダラミズメイガ 10. VIII. 1996, 3♀; 7.

- IX. 1996, 2♂1♀; 20. IX. 1997, 3♂1♀
42. *Cataglyphis midas* Butler キオビミズメイガ
10. VII. 1996, 1♀
＜ツツリガ亜科 GALLERIIDAE＞
43. *Eulophophalpia pauperalis* (Leech)
フタスジツツリガ 10. VII. 1996, 1♀
44. *Lamoria glaucalis* Caradja アカフツツリガ
13. VII. 1996, 2♂1♀; 5. VII. 1997, 1♂2♀
＜フトメイガ亜科 EPIPASCHIIDAE＞
45. *Teliphassa amica* (Butler) オオフトメイガ
13. VII. 1996, 1♂1♀; 10. VII. 1996, 1♀ (近藤)
46. *Teliphassa elegans* (Butler)
ナカアフトメイガ 13. VII. 1996, 1♂ (近藤)
47. *Termiophytha inimica* (Butler)
ソトベニフトメイガ 13. VII. 1996, 1♂; 20. IX. 1997, 1♂
48. *Termiophytha margarita* (Butler)
ナカジロフトメイガ 3. V. 1997, 1♂
49. *Orthaga onerata* (Butler) ネアフトフトメイガ
10. VII. 1996, 1♂
50. *Orthaga achatina* (Butler)
ナカトビフトメイガ 13. VII. 1996, 1♀; 10. VII. 1996, 2♂; 7. IX. 1996, 1♂; 5. VII. 1997, 1♂
51. *Trichophytha juncundalis* (Warren)
ミドリフトメイガ 2. VII. 1997, 1♂
暖地性の種で、近畿以西の本州と四国、対馬に分布する。県下では局地的な分布で氷ノ山(山本, 1989)、黒田庄町(岡本, 1998)で記録されているに過ぎない。
＜シマメイガ亜科 PYRALIDAE＞
52. *Hypsophygia regina* (Butler)
トビイロシマメイガ 20. IX. 1997, 1♂
53. *Pyralis regalis* Denis & Schiffermüller
ギンモンシマメイガ 12. X. 1996, 1♀
54. *Orthopygia glaucinalis* (Linnaeus)
フタスジシマメイガ 12. X. 1996, 1♂
55. *Orthopygia placens* (Butler)
ツマキシマメイガ 13. VII. 1996, 2♂1♀; 5. VII. 1997, 1♂
56. *Herculia pelagalis* (Walker) アカシマメイガ
10. VII. 1996, 1♂
57. *Arippara indicator* Walker
ツマグロシマメイガ 5. VII. 1997, 2♂
58. *Orybina regalis* (Leech) キンボシシマメイガ
13. VII. 1996, 1♂
59. *Endotricha consocia* (Butler)
ウスオビトガリメイガ 10. VII. 1996, 1♂
60. *Endotricha icelusalis* (Walker)
オオウスベニトガリメイガ 7. IX. 1996, 1♂ (近藤)
＜マダラメイガ亜科 PHYCITIDAE＞
61. *Assara korbi* (Caradja)
フタシロテンホソマダラメイガ 12. X. 1996, 1♀
全国的に分布しているが比較的少ない種で、県下では神戸市(東ほか, 1993)で古い記録があるだけである。
62. *Nephopterix mikadella* (Ragonot)
ミカドマダラメイガ 2. VII. 1997, 1♀
63. *Salebria semirubella* (Scopoli)
アカマダラメイガ 5. VII. 1997, 1♀
- トリバガ科 PTEROPHORIDAE
＜ホソトリバガ亜科 PLATYPTILIDAE＞
1. *Platyptilia farfarzella* (Zeller)
エゾギクトリバ 20. IX. 1997, 1♂
＜カマトリバガ亜科 PTEROPHORINAE＞
2. *Emmelina jezonica* (Matsumura)
ヒルガオトリバ 18. V. 1996, 1♂
ヒルガオ科を食樹としており、各地に普通に分布すると思われるが兵庫県下ではこれまで記録が見られない。
- カギバガ科 DREPANIDAE
1. *Agnidra scabiosa* (Butler) マエキカギバ
18. V. 1996, 1♀; 7. IX. 1996, 2♂1♀ (近藤); 7. VI. 1997, 1♀
2. *Nordstromia japonica* (Moore) ヤマトカギバ
3. V. 1997, 1♂
3. *Callidrepana patrana* (Moore)
ギンモンカギバ 3. V. 1997, 1♂
- トガリバガ科 THYATIRIDAE
1. *Thyathia batis* (Linnaeus) モントガリバ
3. V. 1997, 1♂; 7. VI. 1997, 1ex.
2. *Tethea ampliata* Butler オオバトガリバ
13. VII. 1996, 1♂; 10. VII. 1996, 2♂ (近藤); 7. IX. 1996, 1♀; 7. VI. 1997, 1♀
3. *Tethea octogesima* (Butler) ホソトガリバ

13. VII. 1996, 1♂; 12. X. 1996, 1♂; 2. VII. 1997, 1♂

4. *Epipsestis ornata* (Leech) ムラサキトガリバ 9. XI. 1996, 4♂

5. *Epipsestis nikkoensis* (Matsumura) ニッコウトガリバ 9. XI. 1996, 1♂

東北地方から中部地方が分布の中心であるが、小豆島、四国にも分布している。晩秋に出現しあまり目立たないことも記録が少ない一因と思われる。県下ではこれまで南淡町(藤平, 1996-a)で記録されているだけである。

シャクガ科 GEOMETRIDAE

<アオシャク亜科 GEOMETRINAE>

1. *Pachista superans* (Butler) オオアヤシャク 10. VII. 1996, 1♂; 12. X. 1996, 1♂

2. *Tanaorhinus reciprocata* (Walker) カギバアオシャク 7. VI. 1997, 1♂

3. *Geometra dieckmanni* Graeser カギシロスジアオシャク 7. VI. 1997, 1♂; 20. IX. 1997, 1♂

4. *Jodis praeurupta* (Butler) マルモンヒメアオシャク 18. V. 1996, 2♂; 13. VII. 1996, 1♀; 7. IX. 1996, 1♀(近藤); 3. V. 1997, 1♂

5. *Jodis urosticta* Prout ウスキヒメアオシャク 7. VI. 1997, 2♂
県下では比較的少ない種のように、これまで三日月町(川副, 1987)で記録があるだけである。

6. *Maxates protrusa* (Butler) ヒメツバメアオシャク 20. IX. 1997, 1♂

7. *Nipponogelasma lucia* (Thierry-Mieg) スジツバメアオシャク 3. V. 1997, 1♂
少ない種で、県下ではこれまで筆者が姫路市(高島, 1997)で記録しただけである。

8. *Chlorissa obliterata* (Walker) コウスアオシャク 7. IX. 1996, 1♂

9. *Chlorissa amphitritaria* (Oberthür) ハラアカアオシャク 3. V. 1997, 1♂; 2. VII. 1997, 1♂

10. *Chlorissa anadema* (Prout) ホソバハラアカアオシャク 18. V. 1996, 1♂; 13. VII. 1996, 1♀; 7. VI. 1997, 2♂

11. *Comibaena amoenaria* (Oberthür) ヘリジロヨツメアオシャク 10. VII. 1996, 1♂

12. *Comibaena argentataria* (Leech) ギンスジアオシャク 20. IX. 1997, 1♂

13. *Comibaena delicatior* (Warren) クロモンアオシャク 13. VII. 1996, 1♂

14. *Comostola subtilaria* (Bremer) コヨツメアオシャク 7. IX. 1996, 1♂(近藤); 12. X. 1996, 1♀

<ヒメシャク亜科 STERRHINAE>

15. *Dithecodes erasa* Warren シロモンアオヒメシャク 10. VII. 1996, 1♀
山地性の種で兵庫県では局地的である。これまで市島町・青垣町(山本, 1997-a)で記録されているだけである。

16. *Pylargosceles steganioides* (Butler) フタナミトビヒメシャク 18. V. 1996, 1♀; 10. VII. 1996, 1♀(近藤); 3. V. 1997, 1♀

17. *Timandra complaria* Walker コベニスジヒメシャク 18. V. 1996, 1♂

18. *Problepsis diazoma* Prout クロスジオオシロヒメシャク 7. IX. 1996, 1♂; 7. IX. 1996, 1♂(近藤)

19. *Scopula nigropunctata* (Hufnagel) マエキヒメシャク 18. V. 1996, 1♂; 7. IX. 1996, 1♂

20. *Scopula personata* (Prout) ナミスジチビヒメシャク 18. V. 1996, 1♂(近藤)

21. *Scopula superior* (Butler) キナミシロヒメシャク 7. IX. 1996, 1♀

22. *Scopula semignobilis* Inoue ウスサカハチヒメシャク 5. VII. 1997, 1♀

23. *Scopula epiorrhoe* Prout ギンパネヒメシャク 7. IX. 1996, 1♂

24. *Scopula ignobilis* (Warren) ウスキクロテンヒメシャク 18. V. 1996, 1♂

25. *Idaea impexa* (Butler) キオビベニヒメシャク 7. IX. 1996, 1♀

26. *Idaea auricruda* (Butler) ヨスジキヒメシャク 7. VI. 1997, 1♂

27. *Idaea remissa* (Wileman) ホソスジキヒメシャク 2. VII. 1997, 1♀

28. *Idaea biselata* (Hufnagel) ウスキヒメシャク 13. VII. 1996, 1♂

<ナミシャク亜科 LARENTIINAE>

29. *Trichopteryx hemana* Butler

- シタコバネナミシヤク 3. V. 1997, 1♂
30. *Naxidia maculata* (Butler)
ゴマダラシロナミシヤク 7. IX. 1996, 1♂ ;
7. VI. 1997, 1♂
31. *Typloptera bella* (Butler) ホソバナミシヤク
10. VII. 1996, 1♂
32. *Xanthorhoe hortensiaria* (Graeser)
フタトビスジナミシヤク 18. V. 1996, 1♀
(近藤) ; 3. V. 1997, 1♀ ; 20. IX. 1997, 2♂
33. *Xanthorhoe musicicapata* (Christoph)
ツマグロナミシヤク 3. V. 1997, 1♀
34. *Euphyia cineraria* (Butler)
ハコベナミシヤク 13. VII. 1996, 1♂ ; 7. IX.
1996, 1♀ (近藤)
35. *Microcalcarifera obscura* (Butler)
フタモンクロナミシヤク 7. IX. 1996, 1♀ ;
3. V. 1997, 2♀
36. *Callygris compositata* (Guenée)
ナミガタシロナミシヤク 7. VI. 1997, 1♂
37. *Eulithis ledereri* (Bremer)
ウストビモンナミシヤク 5. VII. 1997, 1♀
38. *Evecliptopera decurrens* (Moore)
セスジナミシヤク 13. VII. 1996, 1♂ ; 18. V.
1996, 2♂ ; 13. VII. 1996, 1♂ (近藤) ; 3. V.
1997, 1♂1♀ ; 8. VI. 1997, 1♀ (近藤)
39. *Ecliptopera umbrosaria* (Motshulsky)
オオハガタナミシヤク 18. V. 1996, 2♂ ; 13.
VII. 1996, 2♂ ; 3. V. 1997, 1♀
40. *Heterothera postalbida* (Wileman)
シロシタトビイロナミシヤク 18. V. 1996,
1♂ ; 12. X. 1996, 1♂2♀ ; 3. V. 1997, 2♀
41. *Eupithecia antivulgaria* Inoue
ヒコサンカバナミシヤク 9. XI. 1996, 2♂
関東以西に分布するが少ない種で、兵庫県で
はこれまで記録がない。晩秋に出現する。
42. *Eupithecia aritai* Inoue ヒメカバナミシヤク
18. V. 1996, 1♂ (近藤)
東海地方以西に分布する。春に出現する。県
下では宝塚市(東ほか, 1992)で記録されてるだ
けである。
43. *Eupithecia interpunctaria* Inoue
クロテンヤスジカバナミシヤク 20. IX. 1997,
1♀
44. *Melanthia procellata* (Denis & Schiffermüller)
ナカジロナミシヤク 3. V. 1997, 1♂
- <エダシヤク亜科 ENNOMINAE>
45. *Abraxas fulvobasalis* Staudinger
クロマダラエダシヤク 7. IX. 1996, 1♀
46. *Abraxas miranda* Butler
ユウマダラエダシヤク 18. V. 1996, 1♂ (近
藤)
47. *Lomograaha bimaculata* (Fabricius)
フタホシシロエダシヤク 3. V. 1997, 1♂
48. *Lomograaha subpersata* (Wehrli)
ウスフタスジシロエダシヤク 3. V. 1997,
1♂
49. *Ninodes splendens* (Butler)
ウチムラサキヒメエダシヤク 18. V. 1996,
1♂ ; 13. VII. 1996, 1♂
50. *Plesiomorpha punctilinearia* (Leech)
モンオビオエダシヤク 13. VII. 1996, 1♂ (近
藤)
51. *Euchristophia cumulata* (Christoph)
ウスオビヒメエダシヤク 10. VII. 1996, 1♂ ;
7. VI. 1997, 1♀
52. *Synegia hadassa* (Butler)
ハグルマエダシヤク 13. VII. 1996, 1♀ ; 7. VI.
1997, 1♀
53. *Petelia rivulosa* (Butler)
コトビスジエダシヤク 13. VII. 1996, 1♂ (近
藤)
54. *Astygisa chlororhynodes* (Wehrli)
オオヨスジアカエダシヤク 3. V. 1997, 1♀
本州から九州に分布し、大図鑑では普通種と
紹介されているが、県下では比較的少なくこれ
まで青垣町(山本, 1997-a)、猪名川町(夏秋・佐
々木, 1982)で報告されているだけである。
55. *Hypephyra terrosa* Butler
ウラキトガリエダシヤク 18. V. 1996, 1♀
(近藤)
56. *Crypsicometa incertaria* (Leech)
ツマキエダシヤク 3. V. 1997, 1♀
57. *Godonela defixaria* (Walker)
フタテンオエダシヤク 10. VII. 1996, 1♀
58. *Antipercnia albinigrata* (Warren)
ゴマダラシロエダシヤク 18. V. 1996, 1♂ ;
3. V. 1997, 1♂
59. *Parapercnis giraffata* (Guenée)
オオゴマダラエダシヤク 13. VII. 1996, 1♀
(近藤) ; 10. VII. 1996, 1♂ (近藤) ; 7. VI. 1997,

- 1♂
60. *Pogonopygia nigrilata* Warren
クロフオオシロエダシヤク 13. VII. 1996, 1♀
61. *Arichanna melanaria* (Linnaeus)
キシタエダシヤク 7. VI. 1997, 1♂; 13. VII. 1997, 1♂1♀ (近藤)
62. *Arichanna jaguararia* (Guenée)
ヒョウモンエダシヤク 13. VII. 1996, 1♀;
5. VII. 1997, 1♀ (近藤)
63. *Jankowskia fuscaria* (Leech)
チャノウモンエダシヤク 7. IX. 1996, 1♂;
12. X. 1996, 1♂; 7. VI. 1997, 1♂
64. *Apocleora rimosa* (Butler)
クロクモエダシヤク 18. V. 1996, 1♂; 13. VII. 1996, 1♂3♀ (近藤)
65. *Protoboarmia simplicaria* (Leech)
オレクギエダシヤク 7. IX. 1996, 1♀
66. *Alcis angulifera* Inoue ナカウスエダシヤク
12. X. 1996, 2♂1♀; 1. XI. 1997, 1♀
67. *Rikiosatoa grisea* (Butler)
フタヤマエダシヤク 3. V. 1997, 1♂; 20. IX. 1997, 1♀
68. *Deileptenia ribeata* (Clerck)
マツオオエダシヤク 3. V. 1997, 1♂
69. *Hypomecis roboraria* (Denis & Schiffermüller)
ハミスジエダシヤク 18. V. 1996, 1♂; 3. V. 1997, 1♂
70. *Hypomecis lunifera* (Butler)
オオバナミガタエダシヤク 8. VI. 1997, 1♂ (近藤); 20. IX. 1997, 1♀
71. *Hypomecis punctinalis* (Scopoli)
ウスバミスジエダシヤク 10. VII. 1996, 2♂;
7. IX. 1996, 1♂ (近藤); 12. X. 1996, 2♂; 7. VI. 1997, 1♂; 5. VII. 1997, 1♀
72. *Phthonosema tendinosaria* (Bremer)
リンゴツノエダシヤク 7. VI. 1997, 1♂
73. *Ophthalmitis irrorataria* (Bremer & Grey)
コヨツメエダシヤク 18. V. 1996, 1♀; 3. V. 1997, 1♂
74. *Paradarisa chloauges* Prout
ヒロバウスアオエダシヤク 9. XI. 1996, 1♂
75. *Ectropis obliqua* (Prout)
ウスジロエダシヤク 10. VII. 1996, 2♂
76. *Ectropis excellens* (Butler)
オオトビスジエダシヤク 18. V. 1996, 1♂ (近藤); 3. V. 1997, 1♂
77. *Satoblephara parvularia* (Leech)
ハラゲチビエダシヤク 18. V. 1996, 1♂; 13. VII. 1996, 1♀
78. *Thinopteryx delectans* (Butler)
ミヤマツバメエダシヤク 18. V. 1996, 1♂ (近藤); 8. IX. 1996, 1♂ (近藤)
79. *Colotois pennaria* (Linnaeus)
カバエダシヤク 9. XI. 1996, 1♂
80. *Bizia aexaria* Walker ツマトビキエダシヤク
13. VII. 1996, 1♀; 10. VII. 1996, 1♂; 7. IX. 1996, 1♂ (近藤); 12. X. 1996, 1♂
81. *Menophra senilis* (Butler)
ウスクモエダシヤク 18. V. 1996, 1♂; 13. VII. 1996, 1♀; 10. VII. 1996, 1♀; 12. X. 1996, 1♀; 3. V. 1997, 1♂
82. *Nothomiza formosa* (Butler)
マエキトビエダシヤク 3. V. 1997, 1♂; 20. IX. 1997, 1♀
83. *Odontoptera arida* (Butler)
エグリツマエダシヤク 3. V. 1997, 1♂
84. *Xerodes albonotaria* (Bremer)
モンシロツマキリエダシヤク 3. V. 1997, 2♂1♀
85. *Pareclipsis gracilis* (Butler)
ツマキリウスエダシヤク 13. VII. 1996, 1♂
86. *Xyloscia subsersata* (Felder & Rogenhofer)
トガリエダシヤク 18. V. 1996, 1♂ (近藤)
87. *Plagodis dolabraria* (Linnaeus)
ナカエダシヤク 18. V. 1996, 1♂; 13. VII. 1996, 1♂ (近藤)
88. *Achrosis paupera* (Butler)
フタマエホシエダシヤク 5. VII. 1997, 1♂
89. *Heterolocha aristonaria* (Walker)
ウラベニエダシヤク 5. VII. 1997, 1♀
90. *Parepione grata* (Butler)
ウラモンアカエダシヤク 3. V. 1997, 1♂
91. *Corymica pryri* (Butler)
ウコンエダシヤク 3. V. 1997, 1♀
92. *Ourapteryx nivea* Butler
ウスキツバメエダシヤク 9. XI. 1996, 1♂1♀
93. *Ourapteryx obtusicauda* (Warren)
コガタツバメエダシヤク 8. VI. 1997, 1♀ (近藤)
94. *Ourapteryx maculicaudaria* (Motschulsky)

シロツバメエダシャク 13. VII. 1996, 2♂; 10. VII. 1996, 1♂1♀ (近藤)

ツバメガ科 URANIIDAE

1. *Acropterus iphiata* (Guenée) ギンツバメ
20. IX. 1997, 1♀

アゲハモドキガ科 EPICOPEIIDAE

1. *Epicopeia hainesii* Holland アゲハモドキ
10. VII. 1996, 1♀; 8. IX. 1996, 1♂ (近藤)
2. *Psychostrophia melanargia* Butler キンモンガ
13. VII. 1996, 1♀ (近藤)

フタオガ科 EPIPLEMIDAE

1. *Epiplema moza* (Butler) クロホシフタオ
10. VII. 1996, 1♀
2. *Epiplema plagifera* (Butler)
クロオビシロフタオ 3. V. 1997, 1♂; 5. VII. 1997, 1♂

カレハガ科 LASIOCAMPIDAE

1. *Euhrix albomaculata* (Bremer) タケカレハ
7. IX. 1996, 1♂ (近藤)
2. *Dendrolimus superans* (Butler) マツカレハ
13. VII. 1996, 1♂ (近藤); 7. IX. 1996, 1♀; 7. VI. 1997, 1♂
3. *Kunugia yamadai* Nagano ヤマダカレハ
1. XI. 1997, 1♂1♀

県下での記録は案外少なく、これまで氷上郡(山本, 1958)、三日月町(川副, 1987)で記録されているだけである。平地から低山地に広く分布すると思われるが、年1回晩秋に出現するため、記録が少ないものと思われる。

オビガ科 EUPTEROTIDAE

1. *Apha aequalis* (Felder) オビガ
13. VII. 1996, 1♂; 8. IX. 1996, 1♂ (近藤)

ヤママユガ科 SATURNIIDAE

1. *Antheraea yamamai* (Guérin-Méneville)
ヤママユ 10. VII. 1996, 1♂; 20. IX. 1997, 1♂
2. *Rhodinia fugax* (Butler) ウスタビガ
9. XI. 1996, 1♂4♀
3. *Caligula japonica* (Moore) クスサン
20. IX. 1997, 1♂

スズメガ科 SPHINGIDAE

1. *Clanis billineata* (Walker) トビイロスズメ
2. VII. 1997, 1♂
2. *Marumba gaschkewitschii* (Bremer & Grey)
モモスズメ 13. VII. 1996, 1♂; 5. VII. 1997, 1♂
3. *Marumba sperchius* (Ménétrières)
クチバスズメ 13. VII. 1996, 1♂ (近藤); 2. VII. 1997, 1♂
4. *Callambulyx tatarinovii* (Bremer & Grey)
ウンモンズズメ 18. V. 1996, 1♂
5. *Smerinthus tokyonis* Matsumura コウチスズメ
7. VI. 1997, 1♂
6. *Phillosphingia dissimilis* (Bremer) エソスズメ
13. VII. 1996, 1♂
7. *Acosmeryx naga* (Moore)
ハネナガブドウスズメ 3. V. 1997, 1♂
8. *Neogurelca himachala* (Butler)
ホシヒメホウジャク 9. XI. 1996, 1♂

シャチホコガ科 NOTODONTIDAE

1. *Neostauropus basalis* (Moore)
ヒメシャチホコ 7. VI. 1997, 1♂
2. *Syntypistis japonica* (Nakatomi)
アオシャチホコ 10. VII. 1996, 1♂; 12. X. 1996, 1♂
3. *Wilemanus bidentatus* (Wileman)
モンクロギンシャチホコ 13. VII. 1996, 1♂
4. *Fentonia ocypte* (Bremer) ホソバシャチホコ
13. VII. 1996, 2♂; 10. VII. 1996, 1♂ (近藤)
5. *Phalera angustipennis* Matsumura
ムクツマキシヤチホコ 10. VII. 1996, 1♂
6. *Phalera assimilis* (Bremer & Grey)
ツマキシヤチホコ 13. VII. 1996, 2♂
7. *Shaka atrovittatus* (Bremer)
クビワシャチホコ 5. VII. 1997, 1♂
8. *Lophocosma sarantuja* Schintlmeister & Kinoshita クロスジシャチホコ
7. VI. 1997, 1♂
9. *Rablala criatata* (Butler) セダカシャチホコ
13. VII. 1996, 1♂
10. *Rablala splendida* (Oberthür)
アオセダカシャチホコ 10. VII. 1996, 1♂; 3. V. 1997, 1♂
11. *Mimopydra pallida* (Butler)

- ウスキシヤチホコ 10. VII. 1996, 1♂; 3. V. 1997, 1♂
12. *Peridea gigantea* Butler ナカキシヤチホコ
13. VII. 1996, 1♂; 10. VII. 1996, 2♂
13. *Fusadonta basilinea* (Wileman)
ネスジシヤチホコ 10. VII. 1996, 3♂; 2. VII. 1997, 1♂
14. *Pheosiopsis cinerea* (Butler)
スズキシヤチホコ 18. V. 1996, 1♀; 3. V. 1997, 1♂
15. *Drymonia japonica* (Wileman)
コトビモンシヤチホコ 13. VII. 1996, 1♂; 7. VI. 1997, 1♂; 2. VII. 1997, 1♂
16. *Phalerodonta manleyi* (Leech)
オオトビモンシヤチホコ 1. XI. 1997, 1♂1♀
17. *Hexafrenum leucodera* (Staudinger)
ツマジロシヤチホコ 7. VI. 1997, 1♂; 20. IX. 1997, 1♂
18. *Lophontesia pryori* (Butler)
ブライヤエグリシヤチホコ 2. VII. 1997, 1♂
19. *Spatialia doerriesi* Graeser
ウスイロギンモンシヤチホコ 18. V. 1996, 1♂; 13. VII. 1996, 1♂; 10. VII. 1996, 1♀ (近藤)
20. *Pterostoma sinicum* Moore
オオエグリシヤチホコ 13. VII. 1996, 2♂
21. *Rosama ornata* (Oberthür)
トビギンボシシヤチホコ 13. VII. 1996, 1♂
22. *Clostera anastomosis* (Denis & Schifferrmüller)
ツマアカシヤチホコ 8. VI. 1997, 1♂ (近藤)
23. *Clostera anastomosis* (Butler)
セグロシヤチホコ 7. VI. 1997, 1♀

ドクガ科 LYMANTRIIDAE

1. *Calliteara pseudabietis* Butler リンゴドクガ
18. V. 1996, 2♂
2. *Calliteara lunulata* (Butler) アカヒゲドクガ
18. V. 1996, 1♀; 13. VII. 1996, 1♂
3. *Calliteara conjuncta* (Wileman) スズキドクガ
7. VI. 1997, 1♂
4. *Cifuna locuples* Walker マメドクガ
13. VII. 1996, 1♂; 7. IX. 1996, 1♂ (近藤); 5. VII. 1997, 1♂1♀
5. *Orgyia thyellina* Butler ヒメシロモンドクガ

10. VII. 1996, 1♂ (近藤); 5. VII. 1997, 1♂
6. *Laelia gigantea* Butler スゲオオドクガ
10. VII. 1996, 2♂; 12. X. 1996, 1♂; 7. VI. 1997, 1♂
7. *Ivela auripes* (Butler) キアシドクガ
7. VI. 1997, 1♀
8. *Lymantria mathura* Moore カシワマイマイ
5. VII. 1997, 1♂; 2. VII. 1997, 1♂
9. *Topomesoides jonassii* (Butler)
ニフトコドクガ 10. VII. 1996, 1♂; 20. IX. 1997, 1♂
10. *Sphrageidus similis* (Fuessly)
モンシロドクガ 7. IX. 1996, 1♂
11. *Euproctis pulverea* (Leech) ゴマフリドクガ
12. X. 1996, 1♂; 20. IX. 1997, 1♀
12. *Euproctis piperita* Oberthür キドクガ
7. IX. 1996, 1♂

ヒトリガ科 ARCTIIDAE

<コケガ亜科 LITHOSIINAE>

1. *Pelosia noctis* (Butler) クロスジホソバ
7. IX. 1996, 1♂
- 少ない種で県下での記録は少ない。これまで黒田庄町(岡本, 1998)、津名町(登日, 1973-b)で記録されているだけである。
2. *Elimea laevis* Butler ツマキホソバ
13. VII. 1996, 1♀ (近藤)
3. *Elimea aegrota* (Butler) キシタホソバ
20. IX. 1997, 1♂
4. *Elimea fuscodorsalis* (Matsumura) ヤネホソバ
12. X. 1996, 1♂
5. *Elimea japonica* (Leech) キマエホソバ
13. VII. 1996, 1♂
6. *Conilepia nigricosta* (Leech) マエグロホソバ
13. VII. 1996, 1♂
7. *Lithosia quadra* (Linnaeus) ヨツボシホソバ
13. VII. 1996, 1♂; 20. IX. 1997, 1♂
8. *Bizone hamata* Walker アカスジシロコケガ
13. VII. 1996, 1♀
9. *Mitochondria aberrans* Butler
ハガタベニコケガ 13. VII. 1996, 2♂; 7. IX. 1996, 1♀ (近藤)
10. *Mitochondria calamia* Butler ハガタキコケガ
7. IX. 1996, 1♂ (近藤)
11. *Mitochondria striata* (Bremer & Grey)

スジベニコケガ 3. V. 1997, 1♂

12. *Miltochrista pulchra* Butler
ゴマダラベニコケガ 7. IX. 1996, 1♂ (近藤)
13. *Stigmatophora leacrita* (Swinhoe)
ゴマダラキコケガ 7. IX. 1996, 1♀; 2. VII.
1997, 1♀

<ヒトリガ亜科 ARCTIINAE>

14. *Spilarctia seriatopunctata* Motschulsky
スジモンヒトリ 13. VII. 1996, 1♂ (近藤)
15. *Spilosoma imparilis* (Butler)
クワゴマダラヒトリ 7. IX. 1996, 1♀
16. *Spilosoma lubricipeda* (Linnaeus)
キハラゴマダラヒトリ 18. V. 1996, 1♂;
3. V. 1997, 1♀
17. *Chionarctia nivea* (Ménétrières) シロヒトリ
10. VII. 1996, 1♂
18. *Rhyparioides nebulosus* Butler
ベニシタヒトリ 7. IX. 1996, 1♂

カノコガ科 CTENUCHIDAE

1. *Amata fortunei* (Orza) カノコガ
7. IX. 1996, 1♂ (近藤)

ヤガ科 NOCTUIDAE

<ウスベリケンモン亜科 PANTHEINAE>

1. *Trichosea champa* (Moore) キバラケンモン
20. IX. 1997, 1♂

<ケンモン亜科 ACRONICTINAE>

2. *Moma alpium* (Osbeck) ゴマケンモン
10. VII. 1996, 1♀; 5. VII. 1997, 1♀
3. *Gerbothodes angusta* (Butler) ヒメケンモン
3. V. 1997, 1♂
4. *Hyboma adaucta* (Warren) サクラケンモン
3. V. 1997, 1♂
5. *Viminia rumicis* (Linnaeus) ナシケンモン
13. VII. 1996, 5♂; 3. V. 1997, 3♂; 5. VII. 1997,
1♀
6. *Craniphora praelara* Hampson
ニッコウケンモン 7. VI. 1997, 1♂
7. *Lophonycta confusa* (Leech) アミメケンモン
13. VII. 1996, 1♂; 7. VI. 1997, 1♂
<キノコヨトウ亜科 BRYOPHILINAE>
8. *Byromia granitalis* (Butler)
イチモジキノコヨトウ 5. VII. 1997, 1♂
9. *Cryphia mitsuhashi* (Marumo) キノコヨトウ

10. VII. 1996, 3♂; 7. IX. 1996, 2♂ (近藤);
2. VII. 1997, 1♀

10. *Stenoloba clara* (Leech)
ウスアオキノコヨトウ 2. VII. 1997, 1♀
11. *Stenoloba jankowskii* (Oberthür)
シロスジキノコヨトウ 13. VII. 1996, 1♂;
5. VII. 1997, 1♀

<モンヤガ亜科 NOCTUINAE>

12. *Agrotis ipsilon* (Hufnagel) タマナヤガ
5. VII. 1997, 1♀
13. *Agrotis segetum* (Denis & Schiffermüller)
カブラヤガ 10. VII. 1996, 1♂; 12. X. 1996,
1♂; 3. V. 1997, 1♂
14. *Ochroleura plecta* (Linnaeus) マエジロヤガ
18. V. 1996, 1♂
15. *Hermonassa cecilia* Butler クロクモヤガ
12. X. 1996, 1♂
16. *Sineugraphe longipennis* (Boursin)
オオカバスジャガ 13. VII. 1996, 2♂; 5. VII.
1997, 1♂
17. *Diarsia canescens* (Butler) オオバコヤガ
18. V. 1996, 1♂1♀; 12. X. 1996, 1♂; 3. V.
1997, 1♂
18. *Diarsia ruficauda* (Warren)
ウスイロアカフヤガ 13. VII. 1996, 1♂
19. *Xestia c-nigrum* (Linnaeus) シロモンヤガ
7. IX. 1996, 1♀; 20. IX. 1997, 1♂
20. *Xestia fuscostigma* (Bremer)
クロフトビイロヤガ 20. IX. 1997, 1♂
北海道から中部地方にかけてが主たる分布域
で本州西南部では少ない。県下では波賀町(遊
磨, 1973, 高島, 1995)、上郡町(高島, 1998-a)で
の記録がある。
21. *Xestia stupenda* (Butler) マエキヤガ
20. IX. 1997, 1♂
22. *Xestia dilatata* (Butler) ウスチャヤガ
11. X. 1997, 1♂ (近藤)
23. *Xestia efflorescens* (Butler)
キシタミドリヤガ 13. VII. 1996, 1♂; 12. X.
1996, 1♂
24. *Xestia semihirbida* (Walker)
ハイイロキシタヤガ 20. IX. 1997, 1♂
25. *Naenia contaminata* (Walker)
クロギンギシヤガ 7. VI. 1997, 1♂
<ヨトウガ亜科 HADENINAE>

26. *Mamestra brassicae* (Linnaeus) ヨトウガ
20. IX. 1997, 1♂
27. *Sarcopolia illoba* (Butler) シロシタヨトウ
7. IX. 1996, 1♂ ; 12. X. 1996, 1♂
28. *Protomiselia bilinea* (Hampson)
フタスジヨトウ 2. VII. 1997, 1♂
29. *Panolis japonica* Draudt マツキリガ
8. IV. 1996, 1♂
30. *Clavipalpus aurariae* (Oberthür)
キンイロキリガ 3. V. 1997, 1♂
31. *Orthosia fausta* Leech クロテンキリガ
3. V. 1997, 1♂
32. *Mythimna turca* (Linnaeus)
フタオビキヨトウ 7. IX. 1996, 1♂ ; 7. VI.
1997, 1♂
33. *Aletia placida* (Butler) クロシタキヨトウ
13. VII. 1996, 1♂1♀ ; 12. X. 1996, 1♂ ; 7. VI.
1997, 1♀
34. *Aletia flavostigma* (Butler) マダラキヨトウ
7. IX. 1996, 1♂
35. *Leucania compta* Moore アトジロキヨトウ
20. IX. 1997, 1♂
＜セダカモクメ亜科 CUCULLIINAE＞
36. *Cucullia fraterna* Butler
ホソバセダカモクメ 7. IX. 1996, 1♂
37. *Daseochaeta viridis* (Leech)
ケンモンミドリキリガ 9. XI. 1996, 1♂ ; 1.
XI. 1997, 1♂2♀
38. *Conistra albipuncta* (Leech) ホシオビキリガ
9. XI. 1996, 1♂ ; 3. V. 1997, 1♀
39. *Telorta edentata* (Leech) キトガリキリガ
9. XI. 1996, 2♂1♀
40. *Telorta divergens* (Butler)
ノコメトガリキリガ 1. XI. 1997, 1♂
41. *Antivaleria viridimacula* (Graeser)
アオバハガタヨトウ 1. XI. 1997, 2♂1♀
＜カラスヨトウ亜科 AMPHIPYRINAE＞
42. *Apamea hampsoni* Sugi
ネスジシラクモヨトウ 7. VI. 1997, 1♂3♀
43. *Antapamea conciliata* (Butler)
アオフシラクモヨトウ 7. VI. 1997, 1♂
44. *Anapamea cuneatoides* Poole
カバマダラヨトウ 13. VII. 1996, 1♂ ; 10. VII.
1996, 1♀ ; 2. VIII. 1997, 1♂
45. *Bambusiphila vulgaris* (Butler)
ハジマヨトウ 10. VII. 1996, 1♂ ; 12. X. 1996,
1♀
46. *Gortyna fortis* (Butler) ゴボウトガリヨトウ
1. XI. 1997, 1♀
年1回晩秋に出現する。比較的少ないようで
神戸市(東ほか, 1993)、氷ノ山(山本, 1956)、三
日月町(川副, 1987)で記録がある。
47. *Sesamia turpis* (Butler) テンオビヨトウ
13. VII. 1996, 1♂(近藤)
48. *Dypterygia caliginosa* (Walker)
クロモクメヨトウ 7. VI. 1997, 1♂
49. *Axylia putris* (Linnaeus) モクメヨトウ
7. IX. 1996, 1♀
50. *Trachea atriplicis* (Linnaeus)
シロスジアオヨトウ 13. VII. 1996, 1♂
51. *Spodoptera depravata* (Butler)
スジキリヨトウ 13. VII. 1996, 1♂(近藤) ; 7.
IX. 1996, 4♂1♀ ; 3. V. 1997, 1♂ ; 20. IX.
1997, 2♂1♀
52. *Aethis cinerascens* (Motschulsky)
クロテンヨトウ 18. V. 1996, 1♂
53. *Aethis lapidea* (Wileman)
ヒメウスグロヨトウ 13. VII. 1996, 1♂ ; 7. IX.
1996, 1♂(近藤)
54. *Aethis albisignata* (Oberthür)
シロテンウスグロヨトウ 10. VII. 1996, 1♂
(近藤)
55. *Aethis stellata* (Moore) ヒメサビスジヨトウ
7. IX. 1996, 1♂ ; 7. VI. 1997, 1♂
56. *Aethis lineosa* (Moore) シロモンオビヨトウ
10. VII. 1996, 1♂ ; 7. VI. 1997, 1♂
57. *Amphipyra monolitha* Guenée
オオシマカラスヨトウ 12. X. 1996, 1♂ ; 2.
VII. 1997, 1♂
58. *Amphipyra livida* (Denis & Schiffermüller)
カラスヨトウ 13. VII. 1996, 1♂ ; 12. X. 1996,
2♂ ; 9. XI. 1996, 1♂ ; 1. XI. 1997, 1♂
59. *Amphipyra erebina* (Butler)
オオウスズマカラスヨトウ 1. XI. 1997, 1♂
60. *Mormo muscivirens* Butler
アオバセダカヨトウ 7. VI. 1997, 1♂
61. *Orthogonia sera* Felder ノコメセダカヨトウ
12. X. 1996, 1♂
62. *Niphonyx segragata* (Butler) チャオビヨトウ
13. VII. 1996, 1♂ ; 7. VI. 1997, 1♂1♀ ; 2. VII.

1997, 1♂

63. *Dysmilichia gemella* (Leech)

モンオビヒメヨトウ 7. IX. 1996, 1♂

64. *Hadjima biguttula* (Motschulsky)

フタテンヒメヨトウ 13. VII. 1996, 1♂ ; 10. VII. 1996, 1♂

65. *Iambia japonica* Sugi シロマダラヒメヨトウ
13. VII. 1996, 1♂1♀66. *Callophistria japonibia* Inoue & Sugi

キスジツマキヨトウ 7. IX. 1996, 1♂

暖地性の種で兵庫県では比較的記録が少ない。
これまで柏原町(山本, 1996)、猪名川町(夏秋・
佐々木, 1982)、南淡町(藤平, 1974)で記録がある。

<フサヤガ亜科 EUTELIINAE>

67. *Eutelia geyeri* (Felder & Rogenhofer)

フサヤガ 1. XI. 1997, 1♂

<キノカワガ亜科 SARROTHRIPINAE>

68. *Negritothripa hamptoni* (Wileman)

ネジロキノカワガ 10. VII. 1996, 1♀ ; 7. VI. 1997, 1♂ ; 2. VII. 1997, 1♀

69. *Blenina senex* (Butler) キノカワガ

13. VII. 1996, 1♀

<コブガ亜科 NOLINAE>

70. *Nola japonibia* (Strand) マエモンコブガ

3. V. 1997, 1♂

全国的に分布しているが、兵庫県では記録が
少なく、これまで宝塚市(東ほか, 1992)から報
告されているだけである。

71. *Poecilnola pulchella* (Leech) ツマモンコブガ

7. VI. 1997, 1♂

全国的にも少ない種で、大園鑑では東北北部、
関東、対馬、屋久島が産地としてあがっており、
兵庫県からはこれまで記録がなかった。

72. *Rhynchopalpus izuensis* (Inoue)

ソトジロコブガ 2. VII. 1997, 1♀

伊豆半島以西の太平洋沿いに南西諸島にまで
分布している。兵庫県からはこれまで記録がな
く初記録と思われる。

73. *Rhynchopalpus shimekii* (Inoue)

シメキクロコブガ 5. VII. 1997, 1♂

本種も兵庫県からは記録がないと思われる。
クヌギが食樹として知られており、里山には広
く分布している可能性があるが、小型種のため
あまり採集されていないのかもしれない。

74. *Rhynchopalpus bryophilalis* (Staudinger)

モトグロコブガ 2. VII. 1997, 1♀

75. *Rhynchopalpus albula* (Denis & Schiffermüller)

トビモンシロコブガ 7. VI. 1997, 1♂

76. *Rhynchopalpus fumosa* (Butler)クロスジコブガ 10. VII. 1996, 1♂ ; 7. VI. 1997, 1♂ ; 2. VII. 1997, 1♀ ; 20. IX. 1997, 1♂
1♀

<リంగా亜科 CHLOEPHORINAE>

77. *Earias pudicana* Staudinger

アカマエアオリంగా 3. V. 1997, 1♂

78. *Earias roseifera* Butler ベニモンアオリంగా

13. VII. 1996, 1♂

79. *Gelastocera exustra* Butler クロオビリంగా

18. V. 1996, 1♀

80. *Gobala argentata* Butler ハイイロリంగా

18. V. 1996, 1♂

<コヤガ亜科 ACONTIINAE>

81. *Enispa luteofascialis* (Leech) キスジコヤガ

7. IX. 1996, 1♂(近藤)

82. *Aventiola pusilla* (Butler) クロハナコヤガ

5. VII. 1997, 1♂1♀ ; 2. VII. 1997, 1♀ ; 20. IX. 1997, 1♀

83. *Corgatha nitens* (Butler) シマフコヤガ

13. VII. 1996, 1♂ ; 10. VII. 1996, 1♀ ; 2. VII. 1997, 1♀

84. *Corgatha argillacea* (Butler)

カパイロシマコヤガ 7. IX. 1996, 1♂

85. *Araeopteron amoena* Inoue アヤホソコヤガ

20. IX. 1997, 1♀

全国的に分布しているが、兵庫県では記録が
少なく、柏原町(山本, 1996)、南淡町(藤平,
1987)で知られているだけである。

86. *Sophia subrosea* (Butler) ウスベニコヤガ

13. VII. 1996, 1♂

87. *Oruza yoshinoensis* (Wileman)

ヨシノクルマコヤガ 5. VII. 1997, 1♀

兵庫県版レッドデータブックのCランクに指
定されている。南方系の種で千葉県以南の太
洋岸沿いに分布している。兵庫県ではこれまで
淡路島で記録されているだけで、洲本市(登日,
1973-a)、南淡町(藤平, 1987)から報告されて
いるが、本州側の低山地にも分布していること
がわかった。なお、大阪府箕面市でも記録がある。

88. *Oruza mira* (Butler)

- アトキシジクマコヤガ 10. VII. 1996, 1♂ ;
20. IX. 1997, 1♂
89. *Maliattha signifera* (Walker)
ヒメネジロコヤガ 7. IX. 1996, 1♂ (近藤) ;
20. IX. 1997, 1♂
90. *Maliattha chalcogramma* (Bryk)
ネジロコヤガ 7. IX. 1996, 1♂ (近藤)
91. *Micardia pulchra* Butler フタホシコヤガ
18. V. 1996, 1♂
92. *Protodeltote pygarga* (Hufnagel)
シロフコヤガ 3. V. 1997, 1♀ ; 2. VII. 1997,
1♀
93. *Protodeltote distinguenda* (Staudinger)
シロマダラコヤガ 13. VII. 1996, 1♂1♀ ; 10.
VIII. 1996, 2♀ ; 7. IX. 1996, 1♀ (近藤) ; 3. V.
1997, 1♀ ; 20. IX. 1997, 1♀
94. *Sugia stygia* (Butler) ウスシロフコヤガ
7. IX. 1996, 1♀
95. *Hyperstrotia flavipuncta* (Leech)
モンキコヤガ 3. V. 1997, 2♂ ; 20. IX. 1997,
1♀
96. *Phyllophila obliterata* Rambur ヨモギコヤガ
10. VIII. 1996, 1♂
97. *Ozarba punctigera* Walker ホシコヤガ
13. VII. 1996, 1♂ ; 10. VIII. 1996, 1♀ ; 7. IX.
1996, 1♂ (近藤) ; 20. IX. 1997, 1♀
98. *Naranga aeneascens* Moore フタオビコヤガ
3. V. 1997, 1♂ ; 2. VII. 1997, 1♂
99. *Amyna stellata* Butler サビイロコヤガ
12. X. 1996, 1♂ ; 3. V. 1997, 1♂
- ＜ウワバ亜科 PLUSIINAE＞
100. *Sclerogenia jessica* (Butler)
ワイモンギンウワバ 10. VIII. 1996, 1♀
101. *Plusia festucae* (Linnaeus) イネキンウワバ
13. VII. 1996, 1♂
102. *Diachrysia coreae* (Inoue & Sugi)
リョクモンオオキンウワバ 2. VII. 1997, 1♂
103. *Thysanoplusia intermixta* (Warren)
キクキンウワバ 7. VI. 1997, 1♀
104. *Ctenoplusia agnata* (Staudinger)
ミツモンキンウワバ 9. XI. 1996, 1♂
- ＜シタバガ亜科 CATOCALINAE＞
105. *Catocala fulminea* Butler ワモンキシタバ
13. VII. 1996, 1♂
106. *Catocala duplicata* Butler マメキシタバ
2. VII. 1997, 1♂
107. *Catocala patala* C. & R. Felder キシタバ
2. VII. 1997, 1♂
108. *Mocis undata* (Fabricius)
オオウンモンクチバ 2. VII. 1997, 1♂
109. *Mocis annetta* (Butler) ウンモンクチバ
18. V. 1996, 1♂ ; 3. V. 1997, 1♂
110. *Ercheia umbrossa* Butler
モンムラサキチバ 13. VII. 1996, 1♂ ; 3. V.
1997, 4♂1♀
111. *Ercheia niveostrigata* Warren
モンシロムラサキチバ 3. V. 1997, 1♂
112. *Arcte coerulesa* (Guenée) フクラスズメ
13. IV. 1996, 1♂
113. *Spirama retorta* (Clerck) オスグロトモエ
10. VIII. 1996, 1♂
114. *Spirama helicina* (Hübner) ハグルマトモエ
10. VIII. 1996, 1♀ ; 2. VII. 1997, 1♀
115. *Erebus ephesperis* (Hübner) オオトモエ
10. VIII. 1996, 1♂
116. *Metopta rectifasciata* (Ménétrières)
シロスジトモエ 13. VII. 1996, 1♂
- ＜クチバ亜科 OPHIDERINAE＞
117. *Lygephila maxima* (Bremer) クビグロクチバ
13. VII. 1996, 1♂ (近藤) ; 20. IX. 1997, 1♂
118. *Lygephila vulcanica* (Butler)
アサマクビグロクチバ 9. IX. 1996, 1♂
119. *Goniocraspidum pryori* (Leech)
ブライヤキリバ 3. V. 1997, 1♂
120. *Plusiodonta casta* (Butler) マダラエグリバ
7. VI. 1997, 1♂
121. *Calyptra gruesa* (Draudt) オオエグリバ
13. VII. 1996, 2♂
122. *Oraesia emarginata* (Fabricius)
ヒメエグリバ 12. X. 1996, 1♂ ; 20. IX. 1997,
1♂
123. *Blasticorhinus ussuriensis* (Bremer)
コウンモンクチバ 13. VII. 1996, 1♂ ; 5. VII.
1997, 1♂
124. *Dimunma deponens* Walker ウスツマクチバ
10. VIII. 1996, 1♂ ; 3. V. 1997, 1♂
125. *Eugrapta igniflua* Wileman & South
カザリツマキリアツバ 3. V. 1997, 1♀
126. *Pangrapta duplex* Sugi & Kononenko
ウンモンツマキリアツバ 7. VI. 1997, 1♀ ; 2.

- VII. 1997, 1♂
 127. *Pangrapta vasava* (Butler)
 ミツボシツマキリアツバ 7. VI. 1997, 1♀
 128. *Pangrapta flavomacula* Staudinger
 キモンツマキリアツバ 13. VII. 1996, 1♀
 129. *Pangrapta humulata* (Sterz)
 ツマジロツマキリアツバ 7. VI. 1997, 1♀
 130. *Lophomilia polybapta* (Butler)
 キマダラアツバ 13. VII. 1996, 1♀
 131. *Gonepteryx opalina* (Butler)
 フタスジエグリアツバ 13. VII. 1996, 1♂ ;
 5. VII. 1997, 1♀
 132. *Diomea cremata* (Butler) ムラサキアツバ
 7. VI. 1997, 1♀
 133. *Leiotola mollis* (Butler)
 トビフタスジアツバ 7. IX. 1996, 1♀
 134. *Corsa petrina* Marumo オオトウアツバ
 13. VII. 1996, 1♂
 135. *Paragobara flavomacula* (Oberthür)
 キボシアツバ 13. VII. 1996, 1♂ ; 7. VI. 1997,
 1♂1♀ ; 2. VIII. 1997, 1♂
 136. *Paragona inchoata* (Wileman)
 ウスグロセニジモンアツバ 10. VIII. 1996, 1♂
 ; 7. VI. 1997, 1♂
 137. *Hemipsectra fallax* Wileman
 アトヘリヒトホシアツバ 7. VI. 1997, 1♂
 138. *Microxyla confusa* (Wileman) スジモンアツバ
 7. IX. 1996, 1♂
 139. *Hyphenomorphia calamina* (Butler)
 ヒロバチビトガリアツバ 7. VI. 1997, 1♀
 局地的な分布をする種で、兵庫県ではこれま
 で柏原町(山本, 1996)、黒田庄町(岡本, 1998)で
 記録されているだけである。
 <アツバ亜科 HYPENINAE>
 140. *Harita belinda* Butler ナカジロアツバ
 18. V. 1996, 2♂1♀ ; 3. V. 1997, 1♂
 141. *Hypena claripennis* Butler キシタアツバ
 10. VIII. 1996, 1♂
 142. *Hypena amica* Butler クロキシタアツバ
 13. VII. 1996, 1♂1♀
 143. *Hypena trigonalis* Guenée
 タイワンキシタアツバ 7. IX. 1996, 2♂(近
 藤) ; 3. V. 1997, 1♂
 144. *Hypena ella* Butler ソトムラサキアツバ
 3. V. 1997, 1♂ ; 5. VII. 1997, 1♂
 145. *Hypena indicatalis* Walker トビモンアツバ
 10. VIII. 1996, 1♂ ; 7. IX. 1996, 2♂ ; 9. XI. 1996,
 1♂1♀ ; 3. V. 1997, 1♂1♀ ; 7. VI. 1997, 1♂
 146. *Hypena pulverulenta* Wileman コテングアツバ
 10. VIII. 1996, 1♂
 暖地性の種で東海地方、紀伊半島、四国、九
 州、石垣島に分布することが知られている。兵
 庫県ではこれまで高砂市(岡本, 1997)で記録が
 あり、筆者は姫路市(高島, 1998-a)でも採集し
 ているが、そのほかに記録はないが、南部平坦
 地には広く分布している可能性がある。
 147. *Bomolocha zilla* Butler シラクモアツバ
 7. IX. 1996, 1♂
 <クルマアツバ亜科 HERMINIINAE>
 148. *Adrapta simplex* Butler シラナミクロアツバ
 7. IX. 1996, 1♂
 149. *Adrapta notigera* Butler フジロアツバ
 7. IX. 1996, 1♀(近藤) ; 7. VI. 1997, 1♂
 150. *Hydrillodes lentalis* Guenée
 ソトウスグロアツバ 13. VII. 1996, 1♂
 151. *Hydrillodes morosa* Guenée
 ヒロオビウスグロアツバ 18. V. 1996, 1♂ ;
 13. VII. 1996, 1♂(近藤)
 152. *Edessena hamada* C & R. Felder
 オオシラホシアツバ 10. VIII. 1996, 1♀ ; 12.
 X. 1996, 1♂
 153. *Epizeuxis curvipalpis* Butler
 シロホシクロアツバ 10. VIII. 1996, 1♂ ; 2. VII.
 1997, 1♀
 154. *Paracolax trilinealis* Bremer ミスジアツバ
 2. VIII. 1997, 1♀ ; 20. IX. 1997, 1♂
 155. *Paracolax fentoni* Butler ホソナミアツバ
 10. VIII. 1996, 1♂
 156. *Paracorax japonica* Owada ヤマトアツバ
 5. VII. 1997, 1♂
 1987年に新種記載された珍種で、大図鑑にも
 載っていない。京都府、大阪府では記録されて
 いるが兵庫県からは初記録(高島, 1998-b)であ
 る。
 157. *Nodaria tristis* Butler ヒゲブトクロアツバ
 18. V. 1996, 1♂2♀ ; 13. VII. 1996, 2♀ ; 3. V.
 1997, 1♀
 158. *Simplicia nippona* Butler
 オオアカマエアツバ 13. VII. 1996, 1♂(近藤)
 ; 10. VIII. 1996, 1♂ ; 12. X. 1996, 1♂

159. *Simplicia xanthoma* Prout
ニセアカマエアツバ 12. X. 1996, 1♀
160. *Zanclognatha tarsipennalis* Treitschke
ヒメコブヒゲアツバ 3. V. 1997, 1♂; 20. IX. 1997, 1♀
161. *Zanclognatha triplex* Leech
ツマテンコブヒゲアツバ 7. VI. 1997, 1♂
少ない種で東北地方から九州、対馬まで分布する種であるが、兵庫県からはこれまで記録がなかった。
162. *Zanclognatha umbrosalis* Staudinger
チョウセンコウスグロアツバ 18. V. 1996, 1♂
163. *Herminia innocens* Butler シラナミアツバ
18. V. 1996, 1♂(近藤); 13. VII. 1996, 1♀
164. *Herminia arenosa* Butler
ウスキミスジアツバ 18. V. 1996, 2♂
165. *Herminia tarsicrinialis* Knoch トビスジアツバ
18. V. 1996, 1♂(近藤); 13. VII. 1996, 1♀(近藤)
166. *Hipoena fractalis* Guenée オオシラナミアツバ
13. VII. 1996, 1♂(近藤); 10. VII. 1996, 1♂; 12. X. 1996, 2♂1♀; 9. XI. 1996, 2♂; 3. V. 1997, 1♂

トラガ科 AGARISTIDAE

1. *Sarbanissa venusta* Leech ベニモントラガ
10. VII. 1996, 1♀

<参考文献>

- 東 正雄ほか(1992) 宝塚の昆虫Ⅲ 蛾類(I)
宝塚市教育委員会編
- 東 正雄ほか(1993) 宝塚の昆虫Ⅴ 蛾類(Ⅱ)
宝塚市教育委員会編
- 藤平 明(1974) 南淡の蛾(Ⅱ) PARNASSIUS(12): 5-13.
- 藤平 明(1987) 南淡の蛾
- 藤平 明(1996-a) 淡路島南部で注目される蛾(Ⅱ)
PARNASSIUS43:1-2.
- 藤平 明(1996-b) 淡路島南部で注目される蛾(Ⅲ)
PARNASSIUS44:8-9.
- 井上 寛(1982) 日本産蛾類大図鑑 講談社・東京
- 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書
てんとうむし(10):1-10.
- 夏秋 優・佐々木昇(1982) 能勢地方の蛾(Ⅰ)上阿
- 古谷・夏の蛾 Crude(23):1-37.
- 岡本 清・猪股涼一(1962) 兵庫県多可西脇地方の昆虫2(蛾類Ⅰ) 兵庫生物Vol. 4(3/4):154-178.
- 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし(11): 40-45.
- 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(Ⅰ) てんとうむし(12):
- 新家 勝(1986) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その5) きべりはむし14(1):21-22.
- 新家 勝(1987) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その7) きべりはむし15(1):19-21.
- 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における蛾相第1報 きべりはむし23(1):6-16.
- 高島 昭(1997) 姫路市広嶺山の蛾(Ⅰ) てんとうむし(11):65-69.
- 高島 昭(1998-a) 西播地方で採集した注目すべき蛾 てんとうむし(12):68
- 高島 昭(1998-b) 兵庫県でヤマトアツバを採集 誘蛾灯(151):1
- 登日邦明(1973-a) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅰ) 蛾類通信73:215-224.
- 登日邦明(1973-b) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅳ) PARNASSIUS(11):3-6.
- 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅲ) 蛾類通信78:301-306.
- 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物3(3):121-123.
- 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録:12-50.
- 山本義丸(1989) 氷ノ山の蛾類について(続報) 兵庫生物9(5):295-297.
- 山本義丸(1996) 兵庫県氷上郡地方の蛾類(Ⅰ) きべりはむし24(2):1-13.
- 山本義丸(1997-a) 兵庫県氷上地方の蛾類(2) きべりはむし25(1):11-22.
- 山本義丸(1997-b) 兵庫県氷上郡地方の蛾(3) きべりはむし25(2):31-38.
- 遊磨正秀(1973) 引原ダム(宍粟郡波賀町)のヤガ類(Ⅰ) きべりはむし2(1):16-19.

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

兵庫県の昆虫に関する学会誌・機関誌・同好会誌の変遷

高橋 寿郎

兵庫県下で昆虫に関する学会誌、機関誌、同好会誌(一部単行本も含む)がどのように発行されてきているのか、筆者所有文献で眺めその変遷をまとめて見た。何分にも貧弱な所有文献からのまとめであるから多くの脱落、間違いもあることだしよくわからないまま収録したものなど多くある。これ等について御教示、御指導頂ければ幸いである。

兵庫県博物学会誌

兵庫県博物学会は昭和5(1930)年設立会誌創刊号は昭和6(1931)年発行。昭和16(1941)年創立10周年記念号が発行され、それが最後となった。会長は阿部良平(以下敬称略)。植物関係の記事が多く、昆虫関係は佐藤茂樹、室井 緯、米谷正司、高橋寿郎等13篇が発表されているに過ぎない。

神戸二中(現兵庫高校)博物研究会

会誌 Nature 第1号、昭和10(1935)年出版、第9号、昭和14(1939)年まで筆者の手許にある。ただし生物研究部(園芸・飼育・博物)記念誌が県立兵庫高等学校創立七十周年記念として、1978年岡村はた博士印刷費全額負担にてB5、208p.の素晴らしい出版がされた。

研究誌“観察”の発行(1940)。

筆者も二中博物研究会々報を第1号-第5号(1940)発行、1939年には会誌 NATURE(B5, 22p.)を発行した。

兵庫県中等教育博物学雑誌

創刊号が昭和13(1938)年6月発行(山鳥吉五郎が中心となる。創刊号には田中光照の“キベリハムシ”なる報文の発表がある)、第7号は会長山鳥先生還暦祝賀記念号として、B5、432p.の大冊の出版があり江崎徳三・小林桂助の寄稿その他当時の動植物界の著名な方の寄稿が多くある。この記念号

でもってこの雑誌が廃刊となる。この雑誌も昆虫関係の報文発表はそれ程多くない。

昆虫趣味の会神戸支部報

当時の日本の昆虫趣味の中心的存在であった昆虫趣味の会の神戸支部が昭和13(1938)年結成され、その支部報第1号が発行された(支部長、関 公一)。この支部報は昆虫趣味の会機関誌“昆虫界”にふくまれて印刷され会員には別冊として手渡された。

支部では談話会とか採集会をもった。昭和14(1935)年1月15日、一王山・大阪谷のオサムシ採集会には筆者も参加した。この採集会が兵庫県下で初めての冬季オサムシ掘り採集になる。この支部も支部長、幹事の間に感情の綻れがあったようで支部報第5号が昭和15(1940)年に発行されたのが最後になった。

神戸一中(現神戸高校)博物学会があり、そこからも会誌が発行されていたと思われるが、詳しいことはわからなかった。特別号と思われるが昭和16年(1941)年“一中付近の昆虫”(40p. 孔版印刷)と題する印刷物が博物学会出版として発行されており筆者の手許にある。

周 達生によれば(民族動物学, p. 224, 1995)1994年に「六甲-神戸一中博物学会の歴史・神戸高校生物研究会の歴史・神戸高校自然科学研究会生物班の歴史」(193p.)なる出版物がある由。それを見れば博物学会のこともよくわかると思われる。

神戸博物同好会会誌“博物趣味”

相談役に中林馮次、山鳥吉五郎。顧問に紅谷進二他9名の名が出ているが神戸大丸の昆虫採集保存用具売場が事務局であったように記憶している。会誌といっても8ページの総アート印刷のパンフレット形式のものである。

筆者の手許にはVol. 1, No. 1(1939年, 5月号), Vol. 1, No. 2(1939, 6月号), Vol. 1, No. 3(1939, 7月号), Vol. 1, No. 4(1939, 10月号), Vol. 1, No. 7(1939, 11月号)しか無い。何時迄発行されていたものか全くわからない。昆虫に関する記事はわりと多くふくまれている。

関西昆虫学会, 同会会報, 時報, 関西昆虫雑誌。

大阪の寺西 暢・戸沢信義・岩田正俊と京都の竹内吉蔵, 松田良弘が作った「関西昆虫学会」から「関西昆虫学会々報」(昭和5年11月創刊, 昭和25年11月 Vol. 15, No. 2で終刊。1930-1950), 「関西昆虫学会時報」(昭和7年3月創刊, 昭和7年9月第4号をもって終刊), および「関西昆虫雑誌」(昭和8年3月創刊, 昭和14年第5巻第3号をもって終刊。1933-1939)は直接兵庫県には関係がないが, 兵庫県の昆虫に関する報文もあれば兵庫県の方の投稿は多くある。

但馬生物学会

山本茂信等により昭和22(1947)年但馬生物学会が設立された。この学会から機関誌が発行されていたかどうかは筆者は全く知らない, ただ研究会は開催されていたようである。

兵庫県生物学会々誌「兵庫生物」

紅谷進二が発起人となって, 昭和22(1947)年5月17日, 兵庫県生物学会が設立された。会誌「兵庫生物」の創刊号が昭和23(1948)年3月出版された。「兵庫生物」はVol. 10, No. 5(1994)でもって50年になる(1巻が5年間で発行)。1996年出版のVol. 11, No. 2誌上で兵庫生物学会50年の歴史特輯号が出版され, 同時に50周年記念誌「兵庫の自然探訪」(247p.)が出版された。Vol. 7位までには昆虫に関する報文が数多く発表になっている(山本広一, 山本義丸, 高橋寿郎などによる)が, Vol. 10あたりから減少気味になっており, Vol. 11あたりから更なる飛躍をと色々と案が提示されている。まだまだ継続発行されるので, 昆虫についての立派な報文の発表を期待するものが大である。

兵庫県生物学会ならびに学会々員有志による単行本が多く発行されている。それを次に記しておく(昆虫関係のみ)。

◎六甲の草と虫(林 中元著, 自刊。1954)

◎兵庫県生物誌(神戸新聞社刊, 兵庫生物学会編)(兵庫県生物展記念出版)。1956。

◎沿線の自然界(神戸電鉄)(室井 緯, 古川博二, 佐藤茂樹, 岡村はた編)。1958。

◎六甲の自然(六月社, 室井 緯編)。1961。

◎兵庫の自然(のじぎく文庫・兵庫県生物学会編)。1960。

◎ジュニア六甲(六月社・古川博二編)。1961。

◎明石の自然(大成塾・一色八郎編)。1963。

◎兵庫の自然(六月社・紅谷進二編)。1966。

◎続・兵庫の自然(のじぎく文庫・兵庫県生物学会編)。1969。

◎垂水の自然(垂水ライオンズクラブ教育委員会・室井編)。1973。

◎兵庫探訪・自然編(神戸新聞社会部著)。1974。

◎新・兵庫の自然(のじぎく文庫・兵庫県生物学会編)。1976。

◎六甲山の昆虫たち(のじぎく文庫・高橋寿郎著)。1981。

◎六甲の自然(神戸新聞出版センター・室井 緯・清水八重子編)。1982。

◎ヒゲナガカワトビケラ(西村 登著・文一総合出版)。1987。

◎六甲山の地理—その自然と暮らし—(のじぎく文庫・相坂耕作著)。1988。

◎但馬の自然(のじぎく文庫・兵庫県生物学会但馬支部編)。1990。

◎ひょうご昆虫ウォッチング(のじぎく文庫・神戸新聞社編)。1992。

◎丹波の自然(丹波自然友の会編・神戸新聞総合出版センター)。1995。

虫同友会々誌「MDK NEWS」

昭和22(1947)年10月1日, 吉阪道雄・法西定雄らが中心になって結成。創刊号は1947年12月, Vol. 31, No. 83(1981)が最終号。勿論虫の同好会誌

であるから全編虫の報文である。

別冊、六甲山蝶類目録(予報)(1954)、京阪神蝶類目録(1954)、虫同友会特別報告No.1(1955)、No.2(1959)がある。

神戸昆虫同好会々誌「Tritoma」

甲南高校 矢頭 昇、神戸高校 柴内俊次、清水良介、玉木健雄、京都大学 和田義人らによって神戸昆虫同好会が設立され、その会誌「Tritoma」のVol.1, No.1が1950年(July)に発行された。以後どうなったのか筆者の手許には創刊号のみしかないのでよくわからない、情報御教示頂きたい。

兵庫県生物学会氷上支部会報「氷上の自然研究」

第1号(1948)～第79号(1961)が発行されているとのこと。全く筆者見たことがないので、内容がどうなのか現在どうなっているのか不明。

丹波自然友の会々報「丹波の自然」

1号(1968)～291号(1994)が発行されている。この会報について筆者は全く見たことがないので内容不明、また現在どうなっているのかも不明。

柏原高校内丹波自然友の会・氷上文化顕彰会から雑誌「ひかみ」が第1号、昭和34(1959)年～第11号、昭和63(1988)年が出版されている。それから以後どうなっているかわからないが、中でも特集号として第3号(1961)、妙高山特集、第6号(1962)氷上郡昆虫目録追補、第7号(1963)粟鹿山特集、第8号(1967)佐治川特集、第9号(1977)特集竹田川の自然とあり、中には昆虫に関しての多くの記事がある(筆者の手許に「竹田川の自然」,「青垣の自然,第11号(1988)」がある。

氷上郡教職員組合文化部編「氷上の自然」

第1集が昭和22(1947)年発行されてこの第2集がこんどは氷上郡生物学会編、氷上郡文化協会発行となっており、昭和28(1953)年発刊である。この第2集には山本義丸による「郷土の昆虫(一)」という虫関係の報文が発表になっている。ただしこの「氷上の自然」、その後どうなっているのか全く

わからない。

柏原高等学校生物研究会々誌「Natura」

会の設立は昭和21(1946)年4月である。会誌の発行も同年。平成3(1991)年迄発行されているとのこと。それ以後どうなっているのかわからない。筆者の手許にはNo.6(1951)～No.19(1962)がある。これらの会誌には当時柏原高等学校で教鞭をとっていた山本義丸の指導があった関係で昆虫関係の発表が多くある。

兵庫県立長田高校生物部々誌「Shida」

手許には8号(1960)～10号(1962)がある。詳しくはわからない。これらには昆虫関係の記事は多い。

兵庫農科大学生物研究部部誌

第1号(1960)～第4号(1964)。第4号で終刊と考えられる。昆虫関係の報文ばかりである。

西脇自然同好会々誌

詳しくはわからない。西脇高校の教鞭をとっていた猪股涼一・岡本 清の指導があったと思われる。Vol.1, No.1(1965)のみ筆者の手許にある。昆虫関係の記事はこの号には多い。

西宮市立甲陵中学校生物部々誌「甲陵生物」

手許にはNo.1(1966)、No.2(1967)、No.4(1969)しかない。詳しい状況不明。ただこれらの号の頃には堀田 久が教鞭をとっていたので昆虫記事は多い。

兵庫むしの会々報 No.1,2(1966)

奥谷禎一博士、山口福男(兵庫農試)、大倉正文、高橋寿郎等が加わって兵庫むしの会を設立し(1966)、その会報1,2号を発行したが、奥谷禎一博士の留学を機に解散となった。

甲陽学院高校生物部々誌「生物甲陽」

手許にVol.2(1969)～Vol.16(1989)しかない。設立の経緯とか時期、現在の状況などわからない。

ここも東 正男が教鞭をとっていた関係で、昆虫関係報文の発表が初期の頃には多くあった。

兵庫昆虫同好会々誌「きべりはむし」

1972年設立、会誌創刊号(Vol. 1, No. 1・2)が出版されたのは1972年12月。当初辻 啓介の編集発行、Vol. 6, No. 1・2(1978・11月)から高橋寿郎編集発行、Vol. 23, No. 1(1995・5月)から近藤伸一・高島 昭の編集発行となる。

昭和49(1976)年兵庫昆虫同好会の協力で国定公園三県協議会発行になる“東中国山地自然環境調査報告”(B5, 310p.)の大冊が出版された。

昭和56(1981)年兵庫昆虫同好会創立10周年記念出版物として

高橋寿郎・兵庫県産甲虫類に関する文献目録・改訂版(高橋自費出版)を発行(B5, 42p.)。

平成7(1995)年特別号(Vol. 23, No. 3)を発行(B5, 69p.)。内容はいずれも高橋寿郎著。

兵庫・神戸を原産地とする甲虫

兵庫県産甲虫類に関する文献目録・追加。

1997年が会設立25周年に当たるので、25周年記念特別号(Vol. 25, No. 3, 4)として、

高橋寿郎・日本に産するコガネムシ類の分類目録。

高橋寿郎・きべりはむし総目次

の出版があった。

兵庫虫報Vol. 1, No. 0(1973)～Vol. 3, No. 3(1975)(現在休刊中)。

“きべりはむし”は現在でも発行が続いているし、勿論全部昆虫の報文である。

三木高等学校生物部々誌“釜城生物”

1989年再刊号No. 1が発行され、1991年No. 5でもって休刊となった。主に永橋嘉之が在学中に発行したもので、後継者がいないので再刊は難しいと思われる。全編昆虫の報文である。その間1989年には生物部採集報告書(B5, 32p.)の出版がある。

伊丹生物研究会々報

創刊号(1976)～11号(1980)。

それ以後のことは不明。昆虫の記事は少ない。

伊丹市自然調査報告「伊丹の自然」

伊丹市立博物館より表記第1号の出版が昭和59(1984)年3月であり、平成8(1996)年第13号でもって終刊となった。その間市立博物館開館5周年記念特別展として“昆陽池の自然”の出版があった(1977)。さらに平成4(1992)年には「伊丹の自然、第1巻、第2巻、総頁373p.」におよぶ大冊(カラー図版多数、別冊・付図付)が出版された。全般的には昆虫関係の報文は少ない。

兵庫県自然保護協会々誌「兵庫の自然」

手許にあるのはNo. 1(1971)～Vol. 10, No. 2(1981)。これ以後のことはわからない。昆虫関係の記事は少ない。

昭和48(1973)年協会が調査研究して兵庫県生活自然課より“兵庫県の自然の現状”(B5, 136p.)、昭和49(1974)年“兵庫県の自然の現状Ⅱ”(B5, 79p.)が出版され昆虫についての報告もある。

兵庫県自然保護協会々報紙

会員日報No. 1(1982)～No. 10(1983)。

自然保護のひろばNo. 1(1982)～No. 4(1983)。

会員のひろばNo. 1(1982)～No. 10(1983)。

以上3紙のその後の状況全く知らない。

全般に昆虫関係の記事はほとんどない。

昭和43(1979)年兵庫県自然保護協会鈴蘭台支部より“藍那地区自然環境調査”(B5, 60p.)を出版した(昆虫の報告数篇あり。筆者も甲虫についての報告を執筆した)。

播磨蝶友会々誌「ひろおび」

本会は入江照夫、岩村 巖、尾崎 勇、川崎悟良、佐々木 薫、苦木 隆平、広畑政巳、八木 弘らによる会として会員を増員しないといった会則に基づいて運営された。会誌“ひろおび”0号(1976)から始まったようである。No. 8(1989)迄手許にあるがそれ以後発行されているのかどうか不明。会名のごとく蝶専門誌である。

兵庫県自然保護協会宝塚支部

宝塚自然に親しむ会々報「宝塚の自然」

支部長 東 正雄, 副支部長 三木民子, 機関誌担当理事 新家 勝.

会報創刊号は1997年に発行1997年現在11号まで発行. 昆虫に関する記事もありとある. 尚当会のメンバーが主体となって宝塚市教育委員会が編集発行した「宝塚のトンぼ」(1982), 「宝塚の昆虫Ⅰ」(1992)～Ⅶ」(1994) (B5, 55p. +1794p. 総アート各ページ写真入り, カラー図版付)の素晴らしい出版がある.

兵庫県環境管理課・新観光課・林務課

会誌「自然とともに」

昭和63(1988)年2月創刊号, 平成9(1997)年38号が発行され目下継続中. 虫についての記事もある.

兵庫県立人と自然の博物館

和文紀要「人と自然」. 英文紀要「Nature and Human Activities」. ニュース「ハーモニー」.

「人と自然」はNo.1(1994)～No.7(1996).

「Nature and Human Activities」はNo.1(1997).

「ハーモニー」No.1(1992)～No.13(1996). いずれも目下継続発行中. 博物館の出版物だから昆虫関係の記事の発表もある.

兵庫陸水生物研究会々誌「兵庫陸水生物」

西村 登博士が中心になって1981年1月兵庫陸水生物同好会として設立. 会報No.1は1981年1月に発行. Vol.2, No.1(No.5)から会誌「兵庫陸水生物」に変わる(1982).

No.18(1985.V) 兵庫陸水生物研究会に会名変更, 会誌名は変わらない.

兵庫陸水生物研究会々誌「兵庫陸水生物」No.48(1997), 目下継続発行中. 水棲昆虫の報文多し.

兵庫陸水ニュース 河原版. No.1(1994)～No.9(1997), 目下継続発行中.

淡路昆虫同好会々誌「PARNASSIUS」

登日邦明, 堀田 久らにより昭和42(1967)年設立, 会誌「PARNASSIUS」が発行された. 1997年でNo.45が発行されており引き続いて発行されている. やや不定期刊行の様相を呈している. 勿論淡路島の昆虫についての報文が大部分である. No.1(1967)～No.45(1997).

淡路昆虫同好会連絡誌「Insect」.

No.1～No.36(1985), 目下休刊中.

姫路昆虫同好会々誌「てんとうむし」

会長山本広一, 副会長岩村 巖, 幹事木村三郎, 相坂耕作らにより1976年5月設立, 会誌「てんとうむし」の創刊号は1976年6月発行された. No.10(1987)で休刊状態となったが1997年No.11が相坂耕作の手によって復刊, 今後引き続いて出版される予定, その間「てんとうむし」特別号として「遊虫千年」が1994, 1995年と2回発行された.

姫路昆虫同好会連絡誌「姫昆サロンニュース」

No.1～no.125(1997), 目下継続発行中.

但馬むしの会々誌「IRATSUME」

豊岡高等学校卒業生谷角素彦, 遠藤知二らの発案でそれに高橋 匡, 足立義弘, 石田達也, 木下賢司等が加わって会として発足, 会誌「IRATSUME」創刊号は1977年発行され, 1996年20号が発行, 順調に発行が続いている. 主として但馬地方の昆虫相解明につとめられている(会誌名IRATSUMEは豊岡市周辺の低山地に分布するウラクロシジミの属名で「郎女(いらつめ)」の意味).

兵庫野鳥の会々誌「鳥と自然」

小林桂助, 坂根 千らが中心となって野鳥の会が設立され会誌「鳥と自然」が発行されている. 筆者の手許にはNo.5(1977)～No.86(1997)があり, 目下継続発行されている. 元来鳥についての会誌であるが, 小林桂助会長のおすすめで高橋寿郎が兵庫の昆虫についての報文を発表したりしている.

大阪昆虫同好会々誌“Crude”

昭和43(1968)年3月21日に当時大学生であった人々が中心となって設立された会である。会の設立以来能勢地方の昆虫相及びその生態の調査・解明を主要活動の一つとして実施してきている。会名が大阪昆虫同好会になっていて兵庫県との関係がないように思われるが、能勢地方ということであれば兵庫県とは無縁ではないし、事務局も神戸市北区にあり会誌“Crude”は1997年1月に41号が発行され、それには兵庫県の昆虫に関する記事が多くある。

1981年能勢地方共同調査報告書として“北摂の昆虫(1) 蝶類”の中にも1989年の創立20周年記念出版“北摂の蝶”にも兵庫県の記録が多くふくまれており会員も兵庫県の人達が多い。1998年には30周年記念出版“北摂の昆虫 2”が計画されており、会誌“Crude”には前に記したように兵庫の昆虫に関する報文も多く発表されているし筆者も兵庫県の虫についての多くの投稿もしており、県の虫については忘れることの出来ない同好会である。

ひょうご環境創造協会の情報紙「エコひょうご」

(財)ひょうご環境創造協会発行。

筆者の手許にはNo. 2, 冬号(1997)からNo. 5, 秋号(1997)までが送られて来ている。創刊は1996年の秋号からになるのかと思われるが——。この中に“ひょうごの生き物”シリーズとして、昆虫が②クロツバメシジミ、③ヨコズナサシガメ、④ゲンジボタル、⑤マユタテアカネと美しいカラーで紹介されている。このシリーズが続くのであれば大変期待がもてる。

はじめにのべた如く筆者の所有文献でまとめたものであるから抜けている点、補足しなくてはいけない点が多々あるかと考えられる。御教示、御叱正を頂ければ幸いである(記述の頃は不同である。お赦しを頂きたい)。

(XI・1997)

(附記)

脱稿後東京の斉藤洋一氏から「博物趣味」十一月号(昭和十五年十一月一日発行)(1940)をコピーして送って頂いた。巻、号の記入もなく奥付もない。

発行年月日からすれば第2巻になるのであらうと思われるが、よくわからない出版物である。内容も植物に関するものの記事のみで、虫とは全く無縁の内容である。コピーをお送り下さった斉藤氏に厚く御礼申しあげる。また、筆者の手許に阪神大地震で亡くなった石田 裕氏に頂いた同氏著“The Catalogue of the Japanese Tripulidae, with the keys to the genera and subgenera I ~VI”兵庫農業短期大学研究寛録第4号: 106-135, 1955., 第5号: 59-78, 第6号: 122-149, 1957., 兵庫県農科大学研究報告Vol. 3, No. 2: 37-42, 1958, Vol. 4, No. 1: 1-11, 1959, Vol. 4, No. 2: 27-34, 1960, Vol. 5, No. 1: 1-8, 1961, 全頁111p. 他に“Some New Species of the Genus Pterostichus from Western Japan, 兵庫県農科大学研究報告Vol. 3, No. 2: 32-36, 1958”の大変貴重な論文別刷があり、さらに奥谷楨一博士等によるゴミムシ類の研究論文、神戸大学農学部研究報告Vol. 9, No. 1: 75-79, 1971別刷を頂いている。

これらによると兵庫県下の各大学における紀要とか研究報告などの出版があり、昆虫に関する論文の発表も多くあると思われるが、筆者のようなアマチュア研究者、即ち一般人としては眼にすることが大変困難であり、入手も難しい文献類であり、ここには一切ふれていないことをお断りしておく。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

庭の昆虫雑文

森口 紀

庭の片隅にゲージ(昆虫の飼育小屋2.0m×3.7m・高さ2.3m)を造っています。

この小屋は、昆虫をできる限り自然に近い状態で観察するためのもので、私の長年の夢でもありました。構造は既製品のアルミ温室に屋根部分だけステンレス金網に張り替えた簡単なもので、窓の半分を網戸にすることにより外部とほぼ同じ環境を保てるように工夫しています。

内部には、吸蜜できる植物(バタフライブッシュ)や食草(クヌギ、エノキ、ヒメカンアオイなど)を植え、ゲージの中を蝶が飛び回り、甲虫が這い回るのを楽しみにしていました。

ゲージの完成を待って、早速モンシロチョウやアゲハチョウを放してみましたが、ゲージのなかを飛ぶ蝶の行動をみて、哑然としてしまいました。

吸蜜する草花を植えているにもかかわらず、蝶たちは屋根に張った金網に向かって突進するばかりで、一向に空間を優雅に飛び回る様子はありませんでした。

後でわかったことですが、ゲージのなかの空間は蝶たちにとって暗すぎたのです。どんなに日当たりがよくても、ガラスや金網を通して差し込む日差しは蝶たちにとっては日陰の環境になるのでしょう。

また5月になるとエノキワタアブラムシが発生し始めますが、庭に地植えしているエノキには僅かにしか付かないのに比べ、ゲージの中は新緑の葉が真っ白になるほどアブラムシが発生します。ゲージが蝶の逃亡を防いでいるのと同時に、アブラムシの天敵が侵入するのを妨げ、自然のバランスが崩れた結果アブラムシが異常発生しているのです。

そんな思い外れもありましたが、今までにテングチョウ、ゴマダラチョウ、オオムラサキ、ギフ

チョウ、ツマグロヒョウモン、カブトムシなどを飼育しています。

まだ、詳しい記録やデーターを取るまでに至りませんが、それでも今までに目にしたこともない種々な蝶たちの生態を観察することが出来ました。

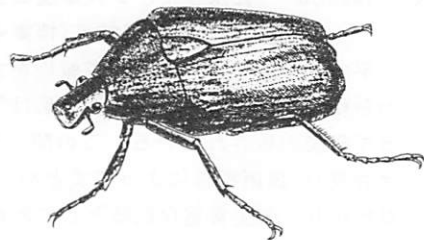
テングチョウの幼虫が糸をはきながら落下し、途中から上手に糸をたくりながら元の枝にたどり着く様子や、オオムラサキが前蛹から蛹になりやがて羽化するまでの変態の様子などを目の当たりにし感激しています。

今、ツマグロヒョウモンについて観察を続けています。昨年の10月に採卵し21匹の幼虫をゲージに放しましたが、この冬に12匹の蛹化を確認し、うち1匹は1月3日に羽化し、3月には終齢幼虫1匹を確認しています。

この冬は例年にない暖冬でしたが、文献では若齢幼虫で越冬するといわれていただけに、越冬した蛹が無事羽化するか否か、また終齢幼虫が無事羽化するまで育つか注意深く観察を続けたいと考えています。

(MORIGUCHI TADASHI)

神戸市西区伊川谷町有瀬77-1)



県 関 係 文 献 紹 介

○ 玉起彰三 「六甲山博物誌」

(のじぎく文庫. 1997. 246p. 神戸新聞総合出版センター刊)

六甲山に生息する様々な動植物、厳しい自然環境、その自然と共生しながら山に暮らす人々の姿、そして連山にまつわる伝説や歴史など生きた博物館でもある六甲山の魅力を満載とある。

昆虫に関しては、セミとかトンボ、クワガタムシ、チョウと出てくるが、いわゆる一般の人々向けに書いてあって今一つつこんだ記述になっていないので、大変物足りない印象を受ける。

著者は六甲高山植物園学芸員。(T)。

○ 「里山の自然を学ぼう！」

～兵庫の里山探訪ガイド～ A5, 64p.

1997. 社団法人 兵庫県森と緑の公社刊。

兵庫県内の23カ所の里山のシイ、コナラ林など落葉樹の分布を等高線で色分けし、生息する生き物も写真入りで解説されている。と云っても昆虫は残念ながらギフチョウだけで、文中にオオムラサキ、カブトムシ、クワガタムシの名は出てくるが、どうも編者は昆虫に就いてはあまり関心の無いと云うか昆虫の分かっていない人たちではないかと思われる。大変きれいな気持ちの良い本だけに残念である。3,000部を印刷、無料配本すること。郵送希望の場合、公社に申し込みれば200円で送ってくれる。(公社住所は、神戸市中央区中山手通7丁目28番33号)

(もっとも、この案内は1998年1月24日の神戸新聞紙上に載ったもので、既に品切れになっているかもしれない) (T)。

○ 相坂耕作 (1997. 12) 「播磨の文化財と虫」

文化財の虫菌害(34) : 38-48.

相坂耕作氏が「文化財の虫菌害34号」に発表になった播磨の文化財にまつわる虫を題材にした播磨学的解説が述べられている。なかなか面白いが、一般向けの機関誌ではないようなので、眼にふれる機会が難しい報文であるのが残念である。貴重な別冊を御恵送下さった相坂氏に厚くお礼申し上げる。(T)。

○ 1998. II. 佐用ライオンズ環境保全委員会刊

「千種川の生態 第25集[特集号]」 B5, 33p. 4付図

平成9年度千種川生物調査報告をまとめている。既にこの「千種川の生物」調査は、昭和45年(1970)から始まっており、その調査結果は「千種川の生態」として第1集(1973)～第25集(1998)の長きにわたって継続出版されている。この間、千種川生物研究会会長・兵庫県立昆虫館館長の内海功一先生(本会会員)の技術指導によってまとめられており、その息の長さに敬服すると共に千種川の生物の消長がわかり、大変貴重な記録としてわれわれの参考になる所大である。(T)。

○ 「ひょうご こんちゅう かるた」 (1997)

文献ではない。兵庫県小学校教育研究会理科・国語の両部会が、「兵庫の昆虫かるた」を二年がかりで作成した。県内に生息する44種類の昆虫を取り上げ、カラー写真を取り札にしてある。写真は両部会の小学校教諭メンバーが撮影し、一部だけ神戸市立森林植物園などから提供を受けたとのこと。いずれもキレイな写真で、ウツギノヒメバチ、ヒメタイコウチ、ギフチョウ、ハッチョウトンボ、オオムラサキ、グンバイトンボ、オオクワガタ、ルリボシカミキリ、キベリハムシと珍しい種が含まれていて大変楽しいカルタであるので此処に紹介した。

(かるた1組 ¥1,500, 甲南出版社販売) (T)。

県関係学会誌・同好会誌・連絡誌

(IX・1997 — III・1998)

兵庫生物ニュース (兵庫県生物学会連絡誌) No. 31 (IX・1997), No. 32 (XI・1997)

混蟲ずかん (但馬むしの会連絡誌) No. 59 (X・1997), No. 60 (XII・1997), No. 61 (II・1998)

兵庫陸水生物ニュース (兵庫陸水生物研究会連絡誌)

No. 11 (VII・1997), No. 12 (X・1997), No. 13 (III・1998)

のせ (大阪昆虫同好会連絡誌) Vol. 26, No. 8~11 (VII~XI・1997),

Vol. 26, No. 12, 13, Vol. 27, No. 1 (I・1998), Vol. 27, No. 2 (II・1998)

姫昆サロンニュース (姫路昆虫同好会連絡誌)

No. 126 (XI・1997), No. 127 (I・1998), No. 128 (I・1998)

IRATSUME (但馬むしの会々誌) No. 21 (XI・1997)

自然とともに (兵庫県生活文化部環境局環境政策課自然環境保全室) No. 40 (XII・1997)

エコひょうご (ひょうご環境創造協会) No. 6 (冬号) (XII・1997)

交 換 誌

KURAKON (倉敷昆虫同好会連絡誌) No. 41(XII・1997)

FUTAO (フタオ会機関誌) No. 25(IV・1997), No. 26(XII・1997)

すずむし (倉敷昆虫同好会々誌) No. 132(XII・1997)

きべりはむし第25巻第3号(特別号)正誤表

page	位 置	誤	正
1	上から3行目	A SYSTEMATIC	SYSTEMATIC
12	下から3行目	SNELLEN VAN	SNELLEN VAN
	4行目	SNELLEN VAN	SNELLEN VAN
15	上から10行目	<i>nitis</i>	<i>mitis</i>
17	下から7行目	(<i>Chryomogeotrupes</i>)	(<i>Chromogeotrupes</i>)
53	上から14行目	エゾチャイロコガネ	エゾスジチャイロコガネ
57	上から9行目	<i>Apoginia</i>	<i>Apogonia</i>
64	上から5行目	<i>sartsumaensis</i>	<i>satsumaensis</i>
80	下から14行目	Shikou	Shikoku
	下から3行目	分布追加	Sado, Shikoku.

お知らせとお願い

前号で予告しておりました「きべりはむし総目次(1972-1997)」につきましては、データを整理し入力もほぼ終了しました。当初は本号と合冊で発行するつもりでしたが、まとめてみると予想以上に膨大なページ数を費やすこと、総目次の需要は本会会員の方だけと思われることから、別冊として発行することとしました。当然印刷費もかさむわけで、昨年特別号を発行した関係もあり、会計も別冊を出す余裕がない状態となっています。そこで、「総目次」は有料とし、1部1,500円(送料込み)にてお分けしたいと思います。

大変厚顔なお願いで申し訳ありませんが、会の経理状態を御推測いただき、何とぞ御承認下さるようお願いいたします。

「総目次」が必要な方は、同封の振込用紙に「総目次注文」と明記の上、6月30日まで(期日厳守)に最寄りの郵便局より振り込んで下さい。

印刷部数は注文数をもとに限定発注とする予定ですので、後日に注文されても品切れとなる可能性があります。できるだけ早めにお申し込み下さい。

なお、「総目次」の内容は、号別、著者別、分類別となっており、およそ60ページとなります。

バックナンバー紹介

最近、本会の会員になられた方のために、以下のバックナンバーが在庫としてありますので紹介します。御希望の号があれば頒布します。内容は今回発行する「総目次」を御参照下さい。中に残部数の極めて少ない巻もあります。品切れの場合は悪しからず御了承下さい。

Vol. 4, No. 1/2, Vol. 6, No. 1/2	各1,000円(送料込み)
Vol. 7, No. 1～Vol. 15, No. 2の各号	各1,000円(同 上)
Vol. 16, No. 1～Vol. 19, No. 2の各号	各1,250円(同 上)
Vol. 20, No. 1～Vol. 23, No. 2及びVol. 24, No. 1～Vol. 25, No. 2の各号	各1,500円(同 上)
Vol. 23, No. 3(特別号)及びVol. 25, No. 3(特別号)	各1,200円(同 上)

※ Vol. 1～Vol. 3, Vol. 5は絶版となっています。

※ Vol. 4とVol. 6は合併号、その他の巻は通常年間2号発行です。

編 集 後 記

記録的な暖冬に続いて春の訪れも早く、いつもより春の虫も早くから姿を見せているようです。先日、氷ノ山の坂の谷林道へ生きましたが、満開のキブシの花に多くの虫たちがむらがっているのを見ると、今年もシーズンの到来かとワクワクさせられます。

きべりはむし第26巻第1号をお届けします。今回はやや投稿者が少なく少々寂しいのですが、宝塚市の新家さんからは武庫川堤防でのキアシハナダカバチの詳しい観察記録を送っていただきました。おかげで門外漢の私たちにもその生態が良く理解できましたし、珍品といわれるこの種が案外身の周りにもいるのではという親近感さえ覚えます。新家さんの粘り強い観察に敬服するとともに、観察の対象はいくらでもあるものだと教えていただいたような気がします。決して珍種の採集記録だけが価値のある報告ではありません。身近な記録報告をお待ちしております。

高橋さんからは、兵庫県下の昆虫関係の各種同好会誌の変遷という貴重な発表を頂きました。若い人や始めて聞かない人にとっては、参考とすべき過去の文献は容易に入手できないばかりか、どんな参考文献があるのかさえわからない状態ではないかと思います。高橋さんはこれまで過去の文献の紹介に努めてこられましたが、今回は視点を変えて同好会誌の変遷をまとめていただきました。大変興味深い内容となっています。

前述しましたように、きべりはむし総目次については有料配布ということにさせていただきましたが、前回配本のきべりはむし第25巻第3号(特別号)「日本に産するコガネムシ類の分類目録」の索引ができましたので同封します。こちらは当然無料です。

次号は1998年11月の発行となります。原稿の締切は9月末日とさせていただきます。奮って投稿いただきますようお願いします。

(編集担当：近藤伸一・高島昭)

きべりはむし 第26巻 第1号

1998年5月25日発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652-0054 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方
振替 01170-3-26646

編集：近藤伸一・高島昭

原稿送付先 〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島昭宛

印刷：岩峰社

目 次

兵庫県産蝶類分布資料(12) —タテハチョウ科3種の記録— (ホシミスジ・ミスジチョウ・スミナガシ)広畑政巳・近藤伸一	1
兵庫県のタマムシ(1).....高橋寿郎 兵庫県甲虫相資料・345	13
拙著“日本に産するコガネムシ類の分類目録”に 追加すべき日本産のコガネムシ.....高橋寿郎	19
上郡町でオオセンチコガネを採集.....高島 昭	19
武庫川のキアシハナダカバチモドキ.....新家 勝	20
黒川の蛾(兵庫県産蛾類分布資料・8).....高島 昭	23
兵庫県の昆虫に関する学会誌・機関誌・同好会誌の変遷高橋寿郎	39
庭の昆虫雑文.....森口 紀	45
県関係文献紹介.....	46
県関係学会誌・同好会誌・連絡誌(Ⅲ・1997～).....	47
交 換 誌.....	48
会員異動.....	48
きべりはむし25(3)(特別号)正誤表.....	48
会員名簿(1998年1月31日現在).....	50